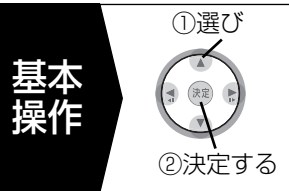
番組を編集する

HDD BD-RE(2.1) BD-R RAM -R -R DL -RW
（ファイナライズしたディスクでは編集できません。ただし、 BD-R -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) -RW(VR) は、ファイナライズ後でも「内容確認」のみできます）

準備 ● [HDD] または [BD/SD] を押して、「HDD」または「BD」を選ぶ。

1 再生中または停止中に、 を押す

☞「番組一覧」が表示されないときは
[青] を押す

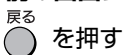
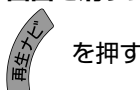
2 番組を選び、 サブメニュー を押す

例） HDD

3 編集する項目を選び、 決定 を押す（➜ 右記へ）

例） HDD

●「番組編集」を選んだときは、さらに項目を選び、[決定] を押します。

☞ **前の画面に戻るには**
戻る を押す

☞ **画面を消すには**
 を押す

お知らせ

●「録画モード変換」(➜42) が設定されている番組は、「番組分割」「プロテクト設定」はできません。設定を取り消すと実行できます。
●他の機器で作成したプレイリストがある場合、その元になる番組を編集すると、プレイリストは変更されます。
●初期設定「テレビ画面の焼き付き低減機能」(➜87) が「入」の場合、再生ナビ画面を表示中に、約 10 分以上本機の操作を何も行わなかったときは、再生ナビ画面は消えます。
● BD-R -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) 編集するたびに情報が未記録部分に書き込まれるため、何度も繰り返すとディスク残量が減少します。編集は HDD 上で行い、そのあとにダビングすることをお勧めします。

番組の消去
番組消去

内容の確認
内容確認

番組名を付ける / 変更
番組名編集

誤消去防止の設定 / 解除
プロテクト設定 / 解除
●ビデオ方式の DVD にはできません

番組の不要な部分の消去
部分消去
●ビデオ方式の DVD にはできません

番組を 2 つに分割
番組分割
●ビデオ方式の DVD にはできません

DVD トップメニューで表示される画像（サムネイル）の変更
サムネイル変更
● の表示がある番組では表示されません

消去すると記録した内容が消え、元に戻すことができません。消去してよいか確認してから行ってください。

「消去」を選び、(決定)を押す

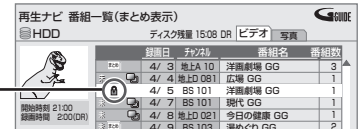
番組名、録画日、チャンネルなどの確認ができます。

☞ **画面を消すには**
［決定］を押す

☞ **文字入力については**（➜79）
- 新 の表示がある番組は変更できません。
- まとめ 番組の番組名を変更しても まとめ 番組内の各番組の名前は変わりません。

大切な記録内容を誤って消去しないよう、番組ごとに書き込み禁止（プロテクト）の設定または解除ができます。

「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、(決定)を押す

🔒プロテクト設定すると表示

部分消去すると記録した内容が消え、元に戻すことができません。部分消去してよいか確認してから行ってください。

4 (▶再生) を押して、再生を始める

5「開始点」を選び、消去する部分の開始点※で(決定)を押す

6 (▶再生) を押して、再生を始める

7「終了点」を選び、消去する部分の終了点※で(決定)を押す

8（続けて別の不要な部分を設定する場合）20 区間まで設定できます。

「次の区間設定へ」を選び、(決定)を押す（➜ 手順 5 へ）
- 「次の区間設定へ」を選ぶと、すでに設定した区間の変更はできなくなります。

9「消去開始」を選び、(決定)を押す

10「実行」を選び、(決定)を押す
- 部分消去した場面には、チャプターマークが作成されます。

黒い部分が消去される部分です。開始点を含む場面から終了点の直前までを消去します。

分割すると元に戻すことができません。分割をしてよいか確認してから行ってください。

4「分割」を選び、分割する場面※で(決定)を押す

☞ **分割する場面を確認するには**
「プレビュー」を選び、［決定］を押す
・分割する場面の前後 10 秒間が再生されます。

☞ **分割する場面を選び直すには**
①「分割」を選び、［▶再生］を押して再生を始める
② 分割する場面で、［決定］を押す

5「終了」を選び、(決定)を押す

6「分割」を選び、(決定)を押す

- 分割した番組は、まとめ 番組になります。
- 分割すると、分割点の直前部分が一瞬再生されなくなります。「プレビュー」で確認のうえ、実行してください。

-R(V) -R DL(V) -RW(V) 変更された画像は、ファイナライズ後、トップメニュー画面で表示されます。**（➜75）**
HDD「サムネイル変更」は、-R(V) -R DL(V) -RW(V) に高速ダビング後も設定は保持されます。

4 (▶再生) を押して、再生を始める

5「変更」を選び、お好みの場面※で(決定)を押す

☞ **場面を選び直すには**
①「変更」を選び、［▶再生］を押して再生を始める
②お好みの場面で［決定］を押す

6「終了」を選び、(決定)を押す

※編集したい場面をうまく選ぶために
① 早送り（➜35）やスロー再生、タイムワープなど（➜36）を使って、目的の部分を探す
② 編集したい場面で［❚❚ 一時停止］を押し、［◀❚❚］［❚❚▶］を押して場面を調整する

番組を編集する（つづき）

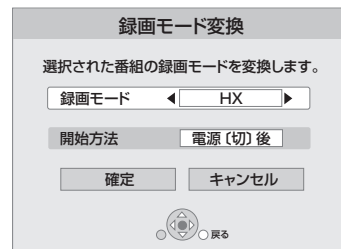
40 ページ手順 1 〜 3 で「録画モード変換」を選んだあと操作します。

録画モードの変換

録画モード変換

HDD

● DR モードの番組のみ

録画モードの変換には、番組の再生とほぼ同じ時間がかかります。
録画モードを変換すると、HDD の容量をおさえることができます。
（録画モードと記録時間の目安 ➜95）

4 [◀] [▶] で録画モードを選ぶ

5 [▼] で「開始方法」を選び、[◀] [▶] で開始方法を設定する

- すぐに　　：「確定」後すぐに、変換を開始します。
  変換中は録画や再生はできません。予約録画も実行されません。
- 電源〔切〕後：電源を切ってしばらくすると、予約録画の設定がされていない時間帯に変換を行います。変換中に電源を入れると、変換を中止し、次に電源を切ると、変換をやり直します。

6 [▲] [▼] [◀] [▶] で「確定」を選び、(決定) を押す

7 「すぐに」変換を開始する場合：

[◀] [▶] で「開始」を選び、(決定) を押す

☞ **変換を実行中に中止するには**
[戻る] を 3 秒以上押す

「電源〔切〕後」変換を開始する場合：

(決定) を押す

☞ **変換の設定内容を変更・取り消しするには**
① 40 ページ手順3で「録画モード変換」を選ぶ
② [◀] [▶] で「設定変更」または「設定取消」を選び、[決定] を押す
・設定変更：設定を変更します。（➜ 手順４へ）
・設定取消：設定を取り消します。

☞ **録画モード変換が終了しているか確認するには**

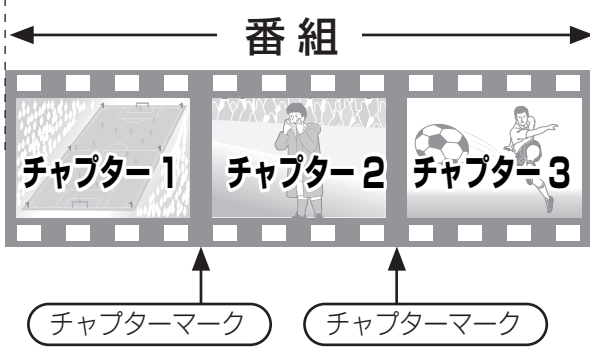
再生ナビ画面で「変換未実行」が表示されている場合、変換は終了していません。

お知らせ

- 番組と録画モードの組み合わせによっては、変換すると容量が増える場合があります。
- 変換後は、DR モードに戻すことはできません。
- 複数の映像や音声などを含む番組を変換する場合、変換後の映像や音声は 1 つだけになります。
  「録画モード変換」では記録する映像や音声を選べません。選んでダビングする場合は、「再生中番組の保存」（➜45）を行ってください。

チャプターの作成・再生・編集

HDD BD-RE(2.1) BD-R RAM -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) -RW(VR)
（ファイナライズしたディスクでは再生のみできます。）

チャプターとは：チャプターマークで区切れた区間のことです。
番組のお気に入りの場面などにチャプターマークを作成すると、スキップ（➔35）したときに、その場面に飛ぶことができます。

チャプターマークで区切れた区間が
チャプターになります。

最大チャプターマーク数（記録状態により異なります。自動的に作成されるチャプターマークを含む）
HDD ：1 番組あたり約 999 個
BD-RE(2.1) BD-R RAM -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) -RW(VR) ：ディスクあたり約 999 個
BD-RE(2.1) BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) ：1 番組あたり約 100 個

○○（お知らせ）○○
- 自動 CM 早送り（➔38）が働く場面にもチャプターマークが自動的に作成されます。（1 番組あたり最大 98 個）
- HDD チャプターマークが最大値まで作成された番組は、続き再生メモリー機能（➔35）や「サムネイル変更」（➔40）ができなくなります。
- HDD 作成されたチャプターは、ダビングしても保持されます。

チャプターマークを作成する / 削除する

作成する

再生中または一時停止中にチャプターマークを作成したい場面で
[チャプターマーク] を押す

削除する

一時停止中に
1 **[スキップ ⏮] または [スキップ ⏭] を押して、削除したい場面に飛ぶ**
2 **[チャプターマーク] を押す**
3 **[◀] [▶] で「はい」を選び、[決定] を押す**

前後のチャプターが
結合されます。

○○（お知らせ）○○
- -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) -RW(VR) 作成や削除を何度も繰り返すと、ディスクに記録や編集ができなくなる場合があります。
- [チャプターマーク] の代わりに [10/0] を押しても、作成や削除を行えます。

チャプターの作成・再生・編集（つづき）

1 を押す

☞「番組一覧」が表示されないときは
［青］を押す

2 番組を選び、サブメニュー Ⓢ を押す

3 「チャプター一覧へ」を選び、
決定 を押す

4 再生する：
チャプターを選び、決定 を押す

編集する：
チャプターを選び、サブメニュー Ⓢ を押す
（➜ 手順５へ）

☞ チャプターマークを作成するには
［赤］を押す（➜ 右記へ）

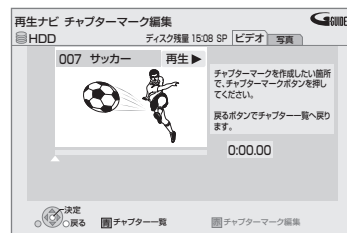
5 編集する項目を選び、決定 を押す
（➜ 右記へ）

チャプター消去
チャプター結合

☞ 前の画面に戻るには
戻る を押す

☞ 画面を消すには
戻る を数回押す

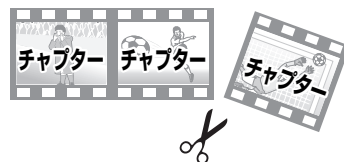
チャプターマークの作成

「チャプター一覧」からチャプターマークの作成をすることができます。

再生中または一時停止中にチャプターマークを作成したい場面で
チャプターマーク を押す

☞ 削除するには
① 一時停止中に［|◀◀］［▶▶|］を押して、削除したい場面を選ぶ
②［チャプターマーク］を押す
③「はい」を選び、［決定］を押す

チャプター部分の消去

チャプター消去

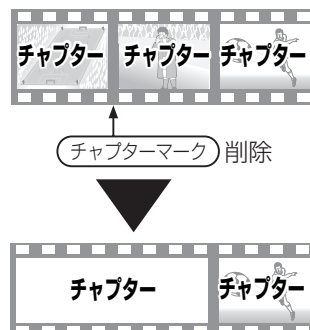
指定したチャプターの録画内容を消去し、番組の部分消去を行います。

元に戻すことはできません。消去してよいか確認してから実行してください。

「消去」を選び、決定 を押す

チャプターをすべて消去すると、その番組自身も消去されます。

チャプターの結合（チャプターマークの削除）

チャプター結合

選択中のチャプターと次のチャプターの間のチャプターマークを削除して、１つにつなぎます。
番組の録画内容が消去されることはありません。

前後のチャプターが結合されます。

「結合」を選び、決定 を押す

番組をダビングする

再生中番組の保存

HDD に録画した番組を再生中に、その番組だけをディスクへダビングすることができます。
●再生位置にかかわらず、再生中の番組の先頭からダビングが開始されます。
ダビング方向：HDD ➡ BD-RE(2.1) BD-R RAM -R -R DL -RW

準備
- ●ダビング可能なディスクを入れる。
- ●フォーマットをして記録方式を設定してください。（➜72）
- ●[HDD] を押して、「HDD」を選ぶ。

お知らせ
- ●1 倍速でダビングを開始すると、約 2 分間ダビングの進行状況の画面が表示されます。

☞ **前の画面に戻るには**

戻る ◯ を押す

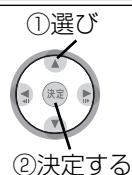
☞ **ダビング中に HDD の録画や再生をするには**（高速ダビング時のみ）

決定 を押して確認画面を消したあと、録画・再生の操作をする
- ●[画面表示］を押すと、ダビングの進行状況が確認できます。

☞ **ダビングを実行中に中止するには**

戻る ◯ を 3 秒以上押す

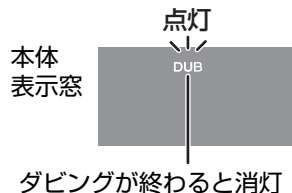
（➜104「ダビング実行中に、ダビングを中止するとどうなる？」）

基本操作
①選び
②決定する

1 ダビングしたい番組を再生する

複数の映像や音声、字幕情報を含んでいる DR モードの番組をブルーレイディスク以外にダビングする場合、**再生設定**「信号切換」（➜38）でダビングする音声などを選んでからダビングしてください。

2 サブメニュー S を押す

3 「再生中番組の保存」を選び、決定 を押す

4 「保存開始」を選び、決定 を押す

再生中番組の保存時の動作について

ダビングする番組		ダビング先ディスク	記録方式	ダビング時の動作：ダビング速度	ダビング時の動作：録画モード
DR モードの番組		ブルーレイディスク		高速※1	そのまま※3
		DVD	AVCREC	1 倍速	残量に合わせて HG、HX、HE
			VR、ビデオ	1 倍速	FR
HG、HX、HE モードの番組		ブルーレイディスク		高速※2	そのまま※3
		DVD	AVCREC	高速※2	そのまま
			VR、ビデオ	1 倍速	FR
XP ～ EP、FR モードの番組	「高速ダビング用録画」を「入」で録画	ブルーレイディスク		1 倍速	再生中番組の録画モード※4
		DVD	AVCREC	ダビングできません	
			VR、ビデオ	高速※1	そのまま※4
	「高速ダビング用録画」を「切」で録画	ブルーレイディスク		1 倍速	再生中番組の録画モード※4
		DVD	AVCREC	ダビングできません	
			VR	高速※1	そのまま※4
			ビデオ	1 倍速	再生中番組の録画モード※4

※1 ディスクに容量を超えてダビングする場合、1 倍速になります。
※2 **初期設定**「HG ～ HE のディスク記録音声」（➜85）が「固定」の場合、1 倍速（再生中番組の録画モード）になります。
※3 ディスクに容量を超えてダビングする場合、HG、HX または HE モードになります。
※4 ディスクに容量を超えてダビングする場合、FR モードになります。
● 表示のある番組は、ビデオ方式の DVD にダビングできません。

番組をダビングする（つづき）

おまかせダビングについて

操作方法 ➜10「ダビングしよう!」

ダビングする画質

挿入されたディスクの記録方式を自動的に判別し、画質を設定します。
-RW はハイビジョン画質を選択できません。（画質の表示もされません）

ディスク		画質	
ブルーレイディスク	➡	標準画質　ハイビジョン画質	どちらもダビングできます。（画質は表示されません）
VR 方式の DVD ビデオ方式の DVD	➡	標準画質	
AVCREC 方式の DVD	➡	ハイビジョン画質	
未フォーマットの DVD	➡	標準画質　ハイビジョン画質	選択できます。

画質を選択する

●未フォーマットの RAM -R -R DL

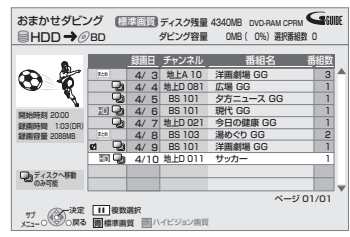
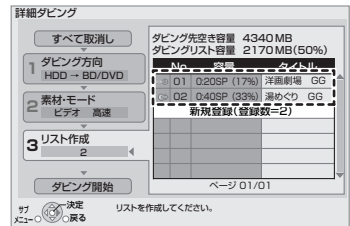
青 または 赤 を押す

標準画質 ⟷ ハイビジョン画質　切り換わります。

未フォーマットのディスクの自動フォーマット

ブルーレイディスク
自動的にフォーマットします。

DVD
自動的に記録方式を設定します。

ダビングする画質	ダビングする番組とディスク		設定される記録方式
標準画質	● -R -R DL -RW にダビングするとき、ダビングするすべての番組に が表示されていない	➡	ビデオ方式
	●ダビングする番組に が表示されている番組を 1 つでも含んでいる	➡	VR 方式
ハイビジョン画質		➡	AVCREC 方式

ダビング時の動作

ダビングする番組		ダビング先ディスク	記録方式	ダビング時の動作	
				ダビング速度	録画モード
HD 表示のある番組	DR モード	ブルーレイディスク		高速※1	そのまま※1
		DVD	AVCREC	1 倍速	残量に合わせて HG、HX、HE※2
			VR、ビデオ	1 倍速	FR
	HG、HX、HE モード	ブルーレイディスク		高速※3	そのまま
		DVD	AVCREC	高速※3	そのまま
			VR、ビデオ	1 倍速	FR
HD 表示のない番組	▶▶◎ 表示のある番組	ブルーレイディスク		1 倍速	FR
		DVD	AVCREC	ダビングできません	
			VR、ビデオ	高速※4	そのまま
	▶▶◎ 表示のない番組	ブルーレイディスク		1 倍速	FR
		DVD	AVCREC	ダビングできません	
			VR	高速※4	そのまま
			ビデオ	1 倍速	FR

※ 1 HG、HX、HE モードの番組とまとめてダビングする場合、残量が足りないときは、残量に合わせて「HX」または「HE」モードで、1 倍速でダビングします。
※ 2 HG、HX、HE モードの番組とまとめてダビングする場合、残量に合わせて「HX」または「HE」モードでダビングします。
※ 3 初期設定「HG～HE のディスク記録音声」（➜85）が「固定」の場合、1 倍速（録画モードはそのまま）になります。
※ 4 HD 表示のある番組とまとめてダビングする場合や、ビデオ方式の DVD に ▶▶◎ 表示のない番組とまとめてダビングすると、1 倍速（FR モード）になります。

●ブルーレイディスクや VR 方式またはビデオ方式の DVD に容量を超えてダビングする場合、1 倍速（ブルーレイディスクは残量に合わせて HG、HX または HE モード、DVD は FR モード）になります。
● 表示のある番組は、ビデオ方式の DVD にダビングできません。

FR モードでダビングすると
DVD の容量を使い切るように「XP」～「EP」の中から自動的に最適な画質でダビングします。ダビングした DVD は残量がなくなる場合があります。

● -RW(VR) ファイナライズ後のディスクでも、自動的に「ファイナライズ解除」（➜75）を行ってダビングします。

ダビングの便利な機能

番組の内容や並び替えなど

おまかせダビング
詳細ダビング

例）おまかせダビング

おまかせダビング画面上またはリスト作成画面上で

1 [▲] [▼] で番組を選び、サブメニュー(S)を押す

2 [▲] [▼] で項目を選び、(決定)を押す （➔ 下記へ）

項目	説明
内容確認	●選んだ番組の番組名、録画日、チャンネルなどを表示します。 （番組に ☑ が付いているときはできません）
並び替え HDD ●全番組表示時のみ	●表示順を変更します。（番組に ☑ が付いているときはできません） ●おまかせダビングでは、画面を消すと取り消されます。 ●詳細ダビングでは、画面を消すか、リスト登録画面の「リスト作成」に戻ると取り消されます。
まとめ表示へ **全番組表示へ** HDD	●まとめ表示と全番組表示を切り換えます。 （番組に ☑ が付いているときはできません）
標準画質 おまかせダビング	●未フォーマットの RAM -R -R DL は、ダビングする画質を選択できます。 [▲] [▼] で「標準画質へ切換」を選び、[決定] を押す
ハイビジョン画質 おまかせダビング	●未フォーマットの RAM -R -R DL は、ダビングする画質を選択できます。 [▲] [▼] で「ハイビジョン画質へ切換」を選び、[決定] を押す

リスト登録時の便利機能

詳細ダビング

リスト登録画面上で

1 [▲] [▼] で番組や写真を選び、サブメニュー(S)を押す

2 [▲] [▼] で項目を選び、(決定)を押す （➔ 下記へ）

項目	説明
リスト全消去	リストに登録されている番組や写真をすべて消去します。
追加	選んだ項目の上に新しい項目を追加します。 [▲] [▼]（[◀] [▶]）で追加する番組や写真を選び、[決定] を押してください。
消去	選んだ項目を消去します。
移動	選んだ項目を移動して、リストの順番を入れ替えます。 [▲] [▼] で移動先を選び、[決定] を押してください。 （「写真」ではできません）
リストの項目の入れ替え	リスト登録画面上で ① [▲] [▼] で番組や写真を選び、[決定] を押す ② [▲] [▼]（[◀] [▶]）で新たに登録したい番組や写真を選び、[決定] を押す
登録されたリストや設定を一度に取り消す すべて取消し	リスト登録画面上で ① [▲] [▼] [◀] [▶] で「 すべて取消し 」を選び、[決定] を押す ② [◀] で「 はい 」を選び、[決定] を押す ●設定やリストは以下の場合にも消去されることがあります。 ・ダビング元で番組や写真の記録、消去などをしたとき ・ディスクトレイを開ける、電源を切る、SD カードを取り出したとき

番組をダビングする（つづき）

詳細ダビング

ダビング方向： HDD ➡ BD-RE(2.1) BD-R RAM -R -R DL -RW
BD-RE(2.1) BD-R RAM -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) -RW(VR)
➡ HDD

準備
- ダビング可能なディスクを入れる。
- ディスクにダビングするには、フォーマットをしてください。(➜72)

基本操作 ①選び ②決定する

1 停止中に、 を押す

2 「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

3 「詳細ダビング」を選び、決定 を押す

4 設定項目を選び、[▶] を押す（➜ 右記へ）

5 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

6 「はい」を選び、決定 を押す

☞ **前の画面に戻るには**

戻る を押す

☞ **ダビング中に HDD の録画や再生をするには**
（高速で、ファイナライズを含まないダビング時のみ）

決定 を押して確認画面を消したあと、録画・再生の操作をする
- ［画面表示］を押すと、ダビングの進行状況が確認できます。

例）

チャンネルが表示されたら録画や再生ができます。

☞ **ダビングを実行中に中止するには**

戻る を 3 秒以上押す
- ファイナライズ中は中止できません。
(➜104「ダビング実行中に、ダビングを中止するとどうなる？」)

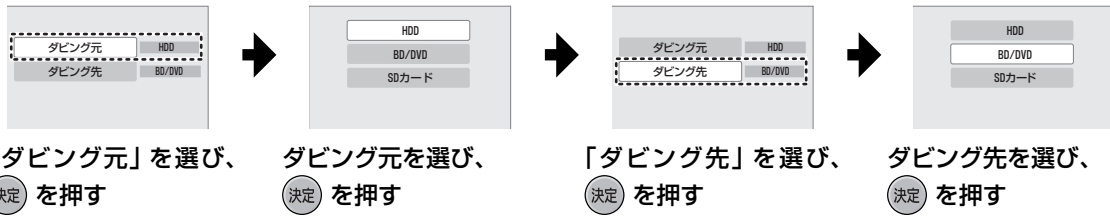
何から何にダビング？
1 ダビング方向

ダビング素材の設定 / 録画モードの設定
2 素材・モード
- 録画モードについて (➜94)

ダビングする番組を選ぶ
3 リスト作成

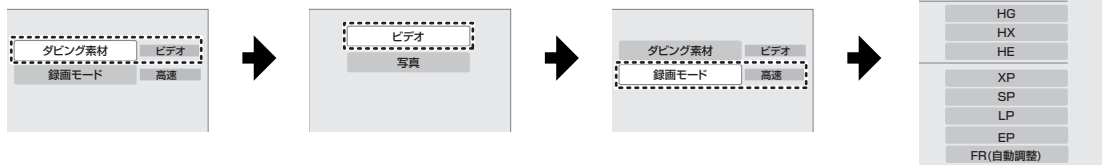
ファイナライズ
4 詳細設定
［ビデオ方式と AVCREC 方式（RAM 除く）のディスクにダビングするときのみ］

画面表示の例）ダビング元に「HDD」、ダビング先に「BD/DVD」を選んだとき

「ダビング元」を選び、決定を押す

ダビング元を選び、決定を押す

「ダビング先」を選び、決定を押す

ダビング先を選び、決定を押す

「高速」以外を選ぶと1倍速でのダビングになります。

「ダビング素材」を選び、決定を押す

「ビデオ」を選び、決定を押す

「録画モード」を選び、決定を押す

録画するモードを選び、決定を押す

- ディスクによって選べる録画モードは異なります。
  （➜99「高速でダビングできないのはどんな場合？」）

「新規登録」を選び、決定を押す

ダビングする番組を選び、一時停止 を押す

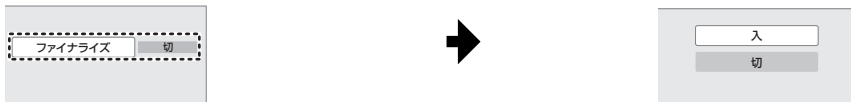
表示マーク（➜127）

- ☑が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。
- 挿入されているディスクにダビングできる番組のみ明るく表示します。

☞ **登録を取り消すには**
番組を選び、[❚❚ 一時停止] を押す

すべてを選んだあと、決定を押す。

☞ ダビングの便利な機能（➜47）

- 高速モードで BD-RE(2.1) BD-R にダビングする場合や AVCREC 方式の DVD にダビングする場合、HD 表示のある番組のみ登録できます。
  初期設定「HG ～ HE のディスク記録音声」（➜85）が「固定」のとき、HG、HX、HE モードの番組を高速モードでダビングできません。
- 高速モードで -R(V) -R DL(V) -RW(V) にダビングする場合、表示のある番組のみ登録できます。

「ファイナライズ」を選び、決定を押す

「入」または「切」を選び、決定を押す

- 「入」に設定すると、ダビング終了後、ファイナライズ（➜123）を行います。記録や編集をすることはできなくなります。

[◀] を押す
（➜ 左ページ手順 4 へ戻る）

お知らせ

- **ダビングリスト容量について**（ダビング先に記録される容量）
  - ・1 倍速の場合は、録画モードによって変化します。
  - ・管理情報が含まれるなどの理由で、ダビングする番組の合計より少し大きくなります。
- 当社製ブルーレイカメラ /DVD ビデオカメラで撮影した映像を HDD にダビングすると、撮影した日付単位で 1 番組になります。
- 1 倍速でダビングを開始すると、約 2 分間ダビングの進行状況の画面が表示されます。

番組をダビングする（つづき）

ファイナライズ後のディスク（DVD ビデオ）をダビングする

ファイナライズ後のディスクを編集したい場合など、ディスクの内容をダビングすることができます。
ダビング方向： DVD-V（ファイナライズ後の -R(V) -R DL(V) -RW(V)、+R、+R DL、+RW）➡ HDD

トップメニュー画面の操作もそのまま記録されます。

ダビング中、不要な番組などはスキップ（➜35）で飛び越すことができます。

準備
- ディスクを入れる。

お知らせ
- **市販の DVD ビデオのほとんどは録画禁止処理がされており、ダビングできません。**
- 高画質や高音質のディスクをダビングしても、元の画質や音質のまま記録することはできません。
- ダビングを開始すると、約 2 分間ダビングの進行状況の画面が表示されます。

☞ **前の画面に戻るには**
［戻る］を押す

☞ **ダビングを実行中に中止するには**
［戻る］を 3 秒以上押す

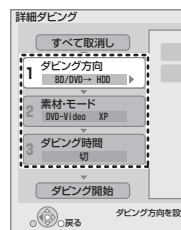
1 **停止中に、** **を押す**

2 **「その他の機能へ」を選び、［決定］を押す**

3 **「詳細ダビング」を選び、［決定］を押す**

4 **設定したい項目を選び、[▶] を押す**

- 操作方法は「詳細ダビング」（➜48）をご覧ください。

1 ダビング方向 BD/DVD → HDD
2 素材・モード DVD-Video XP
3 ダビング時間 切

以下のように設定してください。
・「ダビング方向」：「ダビング元」➜「BD/DVD」
・「素材・モード」：「ダビング素材」➜「DVD-Video」
　　　　　　　　：「録画モード」を選ぶ
　　　　　　　　（「高速」、「HG」、「HX」、「HE」、「FR」は選べません）
・「ダビング時間」：ダビング時間を設定する（➜ 右ページ）

5 **「 ダビング開始 」を選び、［決定］を押す**

6 **「はい」を選び、［決定］を押す**

終了するまでが 1 番組になります。
（8時間を超える場合は、8時間ごとに 1 番組になります）

- 最初に右記の画面がダビングされます。
- 番組の再生が終わったあとも、設定した時間まで HDD にダビングを続けます。

7 **ダビングしたい番組の再生を始める**

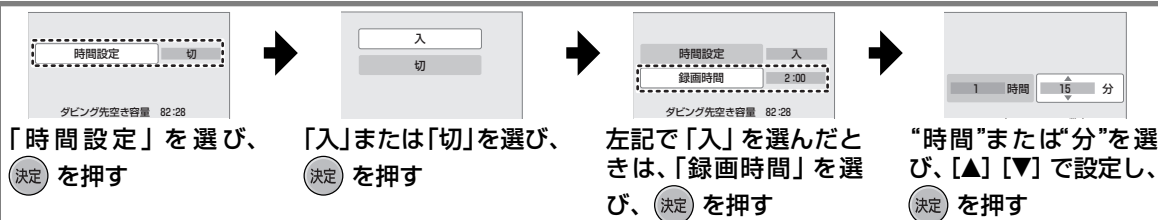
☞ **トップメニューが表示された場合は**
番組を選び、[決定] を押す

☞ **好みの番組を再生するには**
① [再生ナビ] を押す
②番組を選び、[決定] を押す

☞ **ディスクの再生が始まらない場合は**
① [▶ 再生] を押す
②（トップメニューが表示されたら）
番組を選び、[決定] を押す

ダビング時間の設定

ダビング時間

（左ページ手順 4 のあと）

「時間設定」を選び、決定 を押す

「入」または「切」を選び、決定 を押す

左記で「入」を選んだときは、「録画時間」を選び、決定 を押す

"時間"または"分"を選び、[▲] [▼] で設定し、決定 を押す

● 再生を始めるまでの操作時間も含むため、ダビングしたい番組より数分長めに設定してください。

☞ **「時間設定」を「切」にしたときは**

HDD の容量がなくなるまでダビングを続けます。

手順5で 音声 ガイド 対応

SD カードの MPEG2 動画をダビングする

SD ビデオカメラなどで撮影した MPEG2 動画をダビングできます。
ダビング方向： SD （MPEG2）➡ HDD RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)

準備

- DVD にダビングする場合、DVD を入れる。
- DVD にダビングするには、フォーマットをして記録方式を設定してください。（➜72）

お知らせ

- ダビングすると、撮影した日付単位で 1 番組になります。
- SD カードにある MPEG2 動画をそのまま本機で再生することはできません。
- ダビング中は、録画や再生はできません。

☞ **前の画面に戻るには**

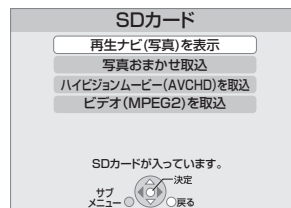
戻る を押す

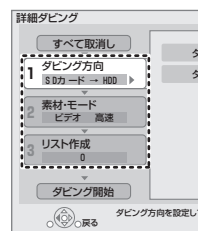
☞ **ダビングを実行中に中止するには**

戻る を 3 秒以上押す

（➜104「ダビング実行中に、ダビングを中止するとどうなる？」）

1 停止中に、SD カードを入れる

2 「ビデオ（MPEG2）を取込」を選び、決定 を押す

3 設定したい項目を選び、[▶] を押す

- 操作方法は「詳細ダビング」（➜48）をご覧ください。

設定項目は、以下のように設定されているかご確認ください。
・「ダビング方向」：「ダビング元」➜「SD カード」
・「素材・モード」：「ダビング素材」➜「ビデオ」
・録画モードは自動的に「高速」になり、変更はできません。
● SD カード内にある MPEG2 動画は、自動的にダビングリストへ登録されます。

4 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

5 「はい」を選び、決定 を押す

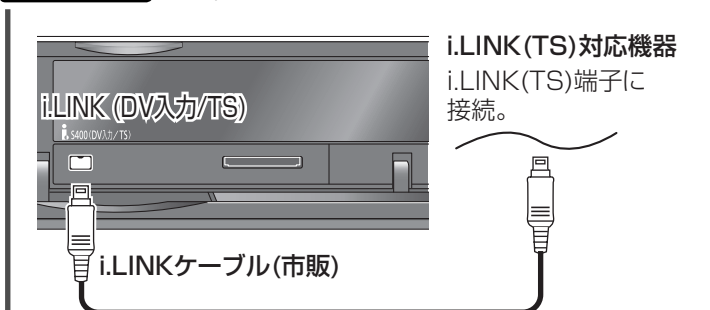
ダビング

番組をダビングする（つづき）

i.LINK（TS）対応機器との間でダビングする

HDD に録画モード「DR」で録画した番組を、ハイビジョン画質のままダビングすることや、接続した機器から HDD へダビングすることができます。
● 本機は、iLINK（TS）に対応した当社製ブルーレイディスクレコーダー（DV-BH250）との動作のみを保証しています。

接続

接続時には、本機と接続機器の電源を切ってください。

設定

① 初期設定で以下の設定をする
・「i.LINK 機器モード設定」:「TS モード 1」（➜88）
② 接続機器側の i.LINK（TS）の設定をする

お知らせ
● ダビング中に、本機や接続した機器を操作すると中止する場合があります。
● 本機から i.LINK 対応機器の再生などの操作はできません。

対応機器
● 日立ブルーレイディスクレコーダー：DV-BH250

準備 ● 本機の電源を入れる。（起動が完了するのを待ちます）

基本操作 ①選び ②決定する

1 接続した i.LINK（TS）機器の電源を入れる

2 [操作一覧] を押す

3 「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す

4 「i.LINK（TS）ダビング」を選び、[決定] を押す

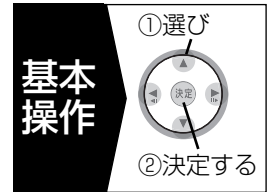
5 番組を選び、 を押す

● ☑ が表示されます。操作を繰り返します。

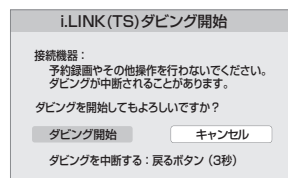
☞ **登録を取り消すには**

タイトルを選び、[❚❚ 一時停止] を押す

6 すべてを選んだあと、[決定] を押す

7 「ダビング開始」を選び、[決定] を押す

● [アイコン] の表示がある番組は HDD から消去されます。
● ダビング中は、録画、再生または予約録画の実行はできません。
● 接続した機器が、録画や再生中や確認画面などが表示されているときはダビングできません。
● 接続した機器から本機の映像が映ります。

☞ **前の画面に戻るには**

[戻る] を押す

☞ **ダビングを実行中に中止するには**

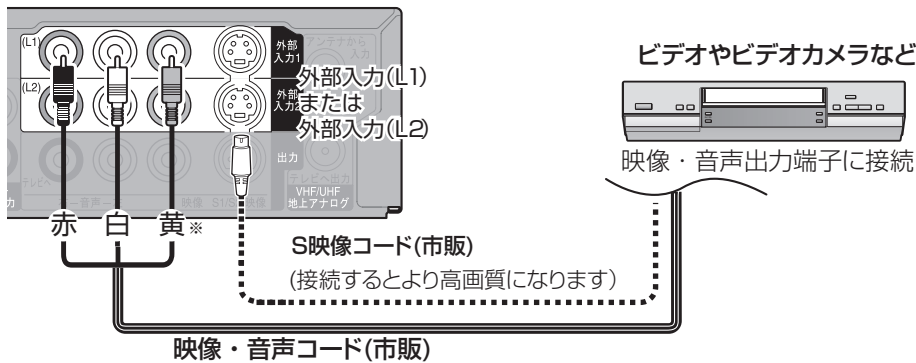
[戻る] を 3 秒以上押す（中止した位置までの内容は消去されます）

ブルーレイディスクレコーダーから本機へダビングする場合

● 接続した機器の電源を入れてから本機の電源を入れてください。
● 録画モードは「DR」でダビングします。
● 接続した機器によって、番組名は 22 文字までしか記録できない場合があります。
● 本機の予約録画が始まると、ダビングは中断されます。

ビデオやビデオカメラからダビングする

接続 外部入力

接続時、本機と接続機器の電源を切ってください。

※S映像コードを接続するときは、映像コード(黄)を抜いてください。

☞ **二重放送の音声を入力するときは**

101 ページ「多重音声の記録について」をご覧ください。

☞ **外部機器の音声出力端子がモノラルのときは**

- ステレオ←→モノラルの映像・音声コード (市販) をお使いください。

接続 i.LINK(DV 入力 /TS)

接続時、本機と接続機器の電源を切ってください。

設定

初期設定で以下の設定をする
- 「DV 入力時の音声設定」: 記録する音声の種類を選ぶ (➔87)
- 「i.LINK 機器モード設定」: 「DV モード」 (➔88)

- 接続した機器から本機を操作することはできません。
- i.LINK (DV 入力 /TS) 経由で本機に接続できる DV 機器は、1 台のみです。

お知らせ

- DV 機器によっては、映像や音声が正しくダビングされない場合があります。
- DV 入力からダビング、「外部入力 (L1) 取込」 中は
  - ・予約録画が始まると、ダビングを中断します。(2 番組同時録画はできません)
  - ・追っかけ再生、同時録画再生、放送 / 入力切換はできません。
- ディスクにダビング中に停電などが発生した場合は、ダビング中の映像・音声はすべて記録されません。
- AVCREC 方式の DVD へはダビングできません。

接続した機器を再生してダビング

HDD

外部入力 (L1) 取込機能を使ってダビング

外部入力 (L1) 取込

BD-RE(2.1) BD-R RAM(VR) -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -RW(VR) -RW(V)

- 外部入力 (L1) 端子に接続したときのみ

DV おまかせ取込機能を使ってダビング

DV おまかせ取込

HDD BD-RE(2.1) BD-R RAM(VR) -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -RW(VR) -RW(V)

- i.LINK (DV 入力 /TS) 端子に接続したときのみ

準備
- 本機の電源を入れる。（起動が完了するのを待ちます）
- [HDD] を押して、「HDD」を選ぶ。

1 入力切換（リモコン下部）**を押して、外部機器を接続した端子（L1、L2、DV）を選ぶ**

2 録画モード（ふた内部）**を押して、録画モード**（➜94）**を選ぶ**

- 「DR」「HG」「HX」「HE」は選べません。

3 接続した機器で再生を始め、録画を始めたい場面で、 録画（ふた内部）**を押す**

☞ **録画を一時停止する**

を押す

- もう一度押すと、録画を再開します。

☞ **ぴったり録画をする**（➜23）

準備
- 本機の電源を入れる。（起動が完了するのを待ちます）
- [BD/SD] を押して「BD」を選ぶ。

1 本機の停止中に、 **を押す**

2 [▲] [▼] で「その他の機能へ」を選び、 決定 **を押す**

3 [▲] [▼] で「外部入力（L1）取込」を選び、 決定 **を押す**

- 録画準備のため、次の画面が表示されるまでに数十秒かかる場合があります。

4 [◀] [▶] で "時間" または "分" を選び、[▲] [▼] で録画時間を設定する

- [1] ～ [10/0] も使えます。

5 接続した機器で再生を始め、[◀] [▶] で「録画開始」を選び、 決定 **を押す**

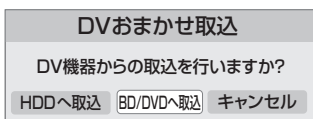
☞ **録画の残り時間を確認するには**（➜23）
[画面表示]（ふた内部）を押す

- 録画モードは「FR」になります。
- -R(VR) -R(V) 手順 **3** あるいは記録や編集を約 30 回行うと記録できなくなる場合があります。
- -R(V) -RW(V) ダビング後にファイナライズ（➜75）を行うと、自動的に約 5 分ごとのチャプターを作成します。

準備
- 本機の電源を入れる。（起動が完了するのを待ちます）
- [HDD] または [BD/SD] を押して「HDD」または「BD」を選ぶ。

1 接続した機器の電源を入れ、機器側でダビング開始点を探し、一時停止しておく

- 「DV おまかせ取込」画面が表示されます。

DVおまかせ取込		
DV機器からの取込を行いますか?		
HDDへ取込	BD/DVDへ取込	キャンセル

2 [◀] [▶] で「HDD へ取込」または「BD/DVD へ取込」を選び、 決定 **を押す**

- 録画準備のため、次の画面が表示されるまでに数十秒かかる場合があります。

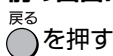
3 録画モード（ふた内部）**を押して、録画モード**（➜94）**を選ぶ**

- 「DR」「HG」「HX」「HE」は選べません。

4 [◀] [▶] で「録画開始」を選び、 決定 **を押す**

- 日付や時刻情報は記録されません。
- DV 機器のモデル名は、正しく表示されない場合があります。
- -R(VR) -R(V) 手順 **2** あるいは記録や編集を約 30 回行うと記録できなくなる場合があります。
- うまく働かない場合は、接続と DV 機器側の設定を確かめ、電源を入れ直してください。それでも働かない場合は、「接続した機器を再生してダビング」（➜ 上記）を行ってください。
- -R(V) -RW(V) ダビング後にファイナライズ（➜75）を行うと、自動的に約 5 分ごとのチャプターを作成します。

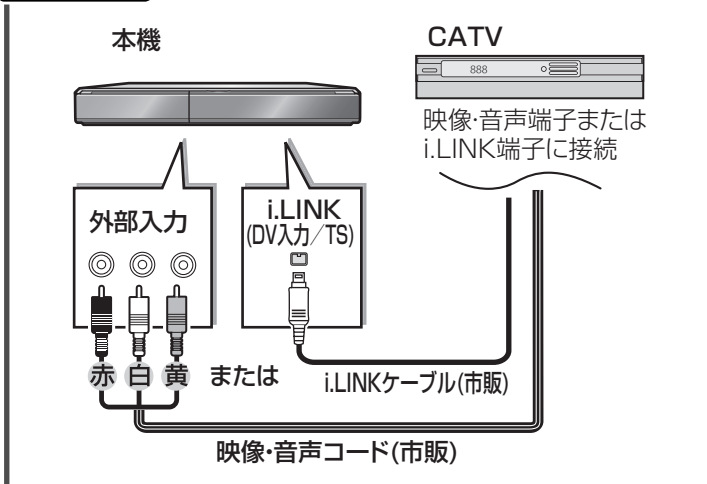
☞ **前の画面に戻るには**

を押す

☞ **録画を止めるには**
停止 を押す

ケーブルテレビ
CATV から本機に録画する

本機とホームターミナル / セットトップボックス（以下、CATV と表記）を接続して、CATV で受信した番組を録画することができます。

接続

接続時、本機と接続機器の電源を切ってください。

設定

i.LINK（TS）に接続した場合、**初期設定**で以下の設定をする。

- 「クイックスタート」:「入」(➜84)
- 「i.LINK 機器モード設定」:「TS モード2」(➜88)

お知らせ

- i.LINK や Ir システムを使って予約録画をする場合、本機側との予約、または i.LINK と Ir システムの予約が重ならないように設定することをお勧めします。
- 外部入力端子（「L1」、「L2」）に接続した CATV から「１回だけ録画可能」の番組を録画する場合、ブルーレイディスクには著作権保護の規定があるため、直接録画することはできません。また、HDD に録画した番組をダビングすることもできません。CPRM 対応の RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) をお使いください。
- i.LINK 機器の中には、本機で録画できない機器もあります。

録画 HDD（直接録画）		
予約録画	i.LINK を使う HDD	
	Ir（アイアール）システムを使う ● 連動予約時：HDD ● タイマー予約時：HDD BD-RE(2.1) BD-R RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)	
	i.LINK や Ir システムを使わないで予約する HDD BD-RE(2.1) BD-R RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)	

1 [入力切換]（リモコン下部）を押して、CATV を接続した端子（「L1」など）を選び、CATV でチャンネルを選ぶ

2 [録画モード]（ふた内部）を押して、録画モード（➜94）を選ぶ

3 [録画]（ふた内部）を押す

☞ **録画を一時停止するには**

 を押す

- もう一度押すと、録画を再開します。

☞ **録画を止めるには**

[停止] を押す

- 「DR」モード以外の予約録画が始まると、録画は中断されます。
  [i.LINK(TS) 入力から録画中は「DR」モードの予約録画でも中断されます]

---

1 **CATV 側の設定をする**

1 i.LINK の設定をする

- CATV 側で、本機が i.LINK 機器として認識されていることを確認してください。

2 予約の設定をする

- 「録画機器」を「D-VHS」、「録画モード」を「自動」に設定してください。
- 本機には「DR」で録画されます。

2 **本機の電源を切る**

- 本機の予約一覧には登録されません。
- 本機の予約録画が始まると、中断されます。
- 番組名は最大 22 文字まで記録します。
- 録画中に本機の操作を行うと、中断する場合があります。
- 番組の先頭部分が録画されない場合があります。録画開始時間を多少早めに設定しておくことをお勧めします。

---

1 **CATV 側の設定をする**

- 「リモコン種別」の「DVD レコーダー（1、2…）」を、本機が動作する番号に合わせてください。

2 **本機の設定をする**

☞ **連動予約のとき**

① [HDD] を押して、「HDD」を選ぶ
② [入力切換]（リモコン下部）を押して、接続した外部入力端子（「L1」または「L2」）を選ぶ
③ [録画モード]（ふた内部）を押して、録画モードを選ぶ（➜94）
④本機の電源を切る

☞ **タイマー予約のとき**

- 本機が予約を受け付けたときに、本体表示窓に “ACCEPT” が表示されます。
- 登録後、予約内容を確認してください。

予約時刻になると、録画が実行されます。

- タイマー予約は、本機側の予約一覧に登録されます。(➜30)
  連動予約は登録されません。
- 本機が動作中に予約を行うと正しく登録されない場合があります。

連動予約時のみ

- 本機の録画モード「DR」以外の予約録画が始まると、録画は中断されます。
- 録画中に本機の操作を行うと、中断する場合があります。
- 番組の先頭部分が録画されない場合があります。録画開始時間を多少早めに設定しておくことをお勧めします。

- CATV 側で予約設定したあと、「時間指定予約」で予約してください。(➜29)
  ・「放送種別」は「外部入力」に設定してください。
  ・「チャンネル」は「L1」または「L2」に設定してください。

ハイビジョンビデオカメラの動画の再生・取り込み

デジタルハイビジョンビデオカメラで撮影し、ハイビジョン動画（AVCHD）が記録されたディスクの再生や、ディスク・SD カードからの取り込みができます。

AVCHD：・ AVCHD の動画が記録された RAM -R -R DL -RW、+R、+R DL、+RW（RAM 以外はファイナライズしたディスクのみ）
・ 他機器でハイビジョンムービーの動画を記録した BD-RE(2.1) BD-R

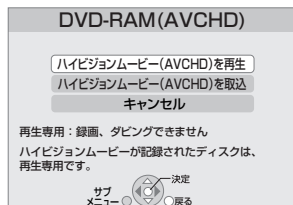
●ハイビジョンムービーの動画と通常の動画が混在したディスクの場合、**初期設定**「ハイビジョンムービー優先モード」を「入」にしてください。（➜85）

ディスクの動画を再生する

AVCHD

1 ディスクを入れる

2「ハイビジョンムービー（AVCHD）を再生」を選び、決定 を押す

例）RAM

☞ **トップメニュー画面が表示された場合**
[▲] [▼] [◀] [▶] を押してタイトルを選び、[決定] を押す

☞ **トップメニュー画面が表示されない場合**
「ダイレクト再生」（➜36）で再生する

☞ **トップメニューを表示させるには**
[再生ナビ] を押す

☞ **再生中のいろいろな操作** （➜35）

お知らせ

- ディスクによっては複数のタイトルを連続再生できません。[**再生ナビ**] を押すか、「ダイレクト再生」で、タイトルを選んで再生してください。
- 再生中に、部分削除など編集された映像のつなぎ目で数秒間画像が静止することがあります。
- SD カードにある AVCHD の動画をそのまま本機で再生することはできません。

ディスクや SD カードの動画を取り込む

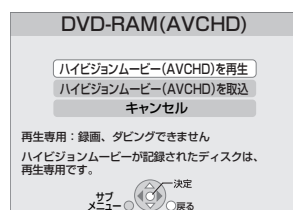
ダビング方向：
AVCHD ➡ HDD
SD ➡ HDD BD-RE(2.1) BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC)

基本操作
①選び
②決定する

1 ディスクまたは SD カードを入れる

2「ハイビジョンムービー（AVCHD）を取込」を選び、決定 を押す

例）RAM

例）SD

お知らせ

- 取り込み中は録画、再生または予約録画の実行はできません。
- VR 方式やビデオ方式の DVD には取り込めません。
- 256 以上のシーンが含まれているタイトルは取り込めません。
- 取り込んだ動画は、再生ナビのチャンネル欄に「AVCHD」と表示されます。

☞ **録画を止めるには**
戻る を 3 秒以上押す

3 SD カードから取り込む場合：
「HDD へ取込」または「BD/DVD へ取込」を選び、決定 を押す

4 ダビングしたいタイトルを選び、 **を押す**

- ☑ が表示されます。操作を繰り返します。
- 撮影した日付単位でタイトルとして表示されます。

☞ **登録を取り消すには**
タイトルを選び、[❚❚ 一時停止] を押す

5 すべてを選んだあと、決定 を押す

6「ダビング開始」を選び、決定 を押す

- 新品など未フォーマットのディスクに取り込む場合、自動的にフォーマットをしてから取り込みを始めます。

写真（JPEG）を再生する

HDD BD-RE(2.1) RAM SD CD

● CD パソコンなどで写真（JPEG）を記録した CD-R、CD-RW が再生できます。

準備
● ディスクまたはカードを入れる。
● [HDD] または [BD/SD] を押して、ドライブを選ぶ。

SD
停止中に SD カードを入れると、下記画面が表示されます。
「再生ナビ（写真）を表示」を選び、[決定] を押すと、右記の手順 **3** に進むことができます。

● 表示される項目は SD カードに記録されている内容によって異なります。

お知らせ
● 写真の横縦比によっては、上下左右に黒帯が表示される場合があります。
● RAM 他の機器で記録した写真の場合、「日付別一覧」が表示されない場合があります。そのときは、「アルバム一覧」を表示してください。
● 録画中やダビング中は写真の再生はできません。

☞ 再生を止めるには

 を押す

● 再生を止めた写真の位置を一時的に記憶します。ただし、以下の場合は解除されます。
・ CD SD 電源を切る、または取り出したとき。
・ BD-RE(2.1) RAM 取り出したとき。

☞ 再生ナビ画面を消すには

 を押す

☞ 前の画面に戻るには

 を押す

1 停止中に、 を押す

HDD BD-RE(2.1) RAM

☞「写真」が表示されないときは
[赤] を押す

☞ 表示方法を切り換えるには
本機では、SD カードから写真を取り込んだ場合、日付別にまとめて表示します。この中から好きな写真をアルバムにまとめて表示することができます。
① [サブ メニュー] を押す
②「日付別表示へ」または「アルバム表示へ」を選び、[決定] を押す

SD CD「写真（JPEG）一覧」が表示されます。（➜ 手順 **3** へ）

2 日付またはアルバムを選び、(決定) を押す

例）HDD

● [決定] の代わりに [▶ 再生] を押すとスライドショーが始まります。

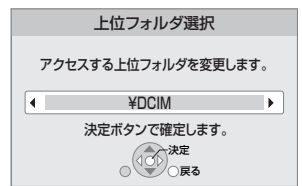
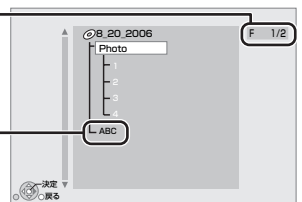
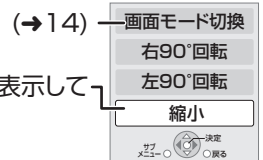
3 写真を選び、(決定) を押す

例）HDD

AVCHD の動画が記録されたディスクの写真を再生するには
[操作一覧] を押して、「写真を再生する」を選ぶ（➜ 上記手順 2 へ）
●再生のみできます。編集はできません。

写真（JPEG）を再生する（つづき）

写真再生のいろいろな機能

フォルダの切り換え （本機で表示されるフォルダ構造例 ➜124）	BD-RE(2.1) RAM（「アルバム一覧」表示時に、上位フォルダに異なる対応フォルダがある場合のみ） **1「アルバム一覧」画面で、サブメニュー (S) を押す** **2 [▲] [▼] で「上位フォルダ選択」を選び、(決定) を押す** **3 [◀] [▶] でフォルダを選び、(決定) を押す** 上位フォルダ選択 アクセスする上位フォルダを変更します。 ¥DCIM 決定ボタンで確定します。 決定 戻る CD **1「写真 (JPEG) 一覧」画面で、サブメニュー (S) を押す** **2 [▲] [▼] で「フォルダ選択」を選び、(決定) を押す** **3 [▲] [▼] [◀] [▶] でフォルダを選び、(決定) を押す** F: フォルダ番号/総フォルダ数 再生できる写真 (JPEG) が入っていないフォルダ 8_20_2006 Photo 1 2 3 4 ABC F 1/2 決定 戻る ☞ **メニュー画面に戻るには** [戻る] を押す
画像の回転、縮小 ● スライドショー再生中はできません	**1 写真を再生中に、サブメニュー (S) を押す** **2 [▲] [▼] で項目を選び、(決定) を押す** (➜14) 画面モード切換 右90°回転 左90°回転 縮小 画素数の小さい写真を表示しているときのみ サブメニュー 決定 戻る ☞ **回転を元に戻すには** [サブ メニュー] を押して逆方向への回転を選び、[決定] を押す ☞ **縮小を元に戻すには** [サブ メニュー] を押して「拡大」を選び、[決定] を押す お知らせ ● 以下の場合、写真の回転の情報は保持されません。 ・CD の写真 ・プロテクトがかかったディスクやカード ・他の機器での再生時 ・写真のダビング時 ● 再生ナビ画面表示中に SD カードを取り出すと、回転の情報が正しく保持されない場合があります。 ● 縮小の情報は保持されません。
写真情報の表示	**写真を再生中に、[画面表示]（ふた内部）を 2 回押す** ☞ **情報表示を消すには** [画面表示]（ふた内部）を押す 例）HDD フォルダー 写真No. 115-0001 撮影日 2007/11/20 枚数 1/10 情報がない場合「----/--/--」と表示されます。
再生中に前後の写真を見る	**[◀] [▶] を押す**

写真を連続して再生（スライドショー）		
	HDD BD-RE(2.1) RAM :「日付別一覧」または「アルバム一覧」 SD CD :「写真 (JPEG) 一覧」 で操作します。 **1 HDD BD-RE(2.1) RAM ［▲］［▼］［◀］［▶］で日付またはアルバムを選ぶ** **2 サブメニュー(S) を押す** HDD BD-RE(2.1) RAM [サブ メニュー] の代わりに [▶ 再生] を押してもスライドショー再生が始まります。 **3 ［▲］［▼］で「スライドショー開始」を選び、(決定) を押す**	
	スライドショーの設定を変更する	上記手順 2 のあと ① ［▲］［▼］で「スライドショー設定」を選び、[決定] を押す ② ［▲］［▼］で設定する項目を選ぶ（➜ 下記へ） ③ 設定終了後、［▲］［▼］［◀］［▶］で「確定」を選び、[決定] を押す
	表示間隔 表示間隔	［◀］［▶］で表示間隔を選ぶ 画素数が大きい写真は、次の写真表示までが長くなったり、設定を変更しても、短くならない場合があります。
	リピート再生 リピート再生	［◀］［▶］で「入」または「切」を選び、[決定] を押す

☞ **スライドショーを終了するには**

戻る を押す

写真（JPEG）を編集する

HDD BD-RE(2.1) RAM SD

●写真単位、日付単位またはアルバム単位で編集することができます。
●CD-R や CD-RW に記録された写真は編集できません。

準備 ●[HDD] または [BD/SD] を押して、ドライブを選ぶ。

日付単位またはアルバム単位で編集する

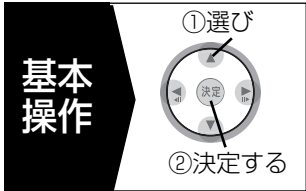
HDD BD-RE(2.1) RAM

1 停止中に、 を押す

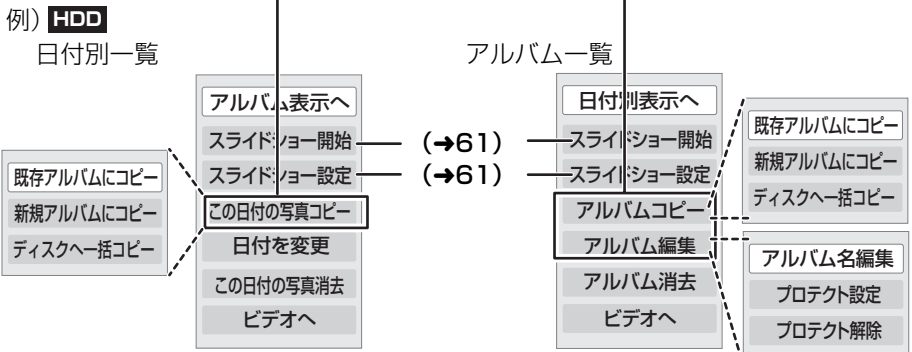
基本操作 ①選び ②決定する

HDD BD-RE(2.1) RAM

☞**「写真」が表示されないときは**
[赤] を押す

☞**表示方法を切り換えるには**
① [サブ メニュー] を押す
②「日付別表示へ」または「アルバム表示へ」を選び、[決定] を押す

2 日付またはアルバムを選び、サブメニュー を押す

3 編集する項目を選び、決定 を押す（➜ 右記へ）

この項目を選んだときは、さらに項目を選んで、[決定] を押してください。

☞ **前の画面に戻るには**

戻る を押す

☞ **画面を消すには**

を押す

既存のアルバムに写真をコピー
既存アルバムにコピー

新しいアルバムを作成し写真をコピー
新規アルバムにコピー

日付またはアルバム内の写真をすべて HDD または BD-RE や DVD-RAM へコピー
ディスクへ一括コピー
HDD
HDDへ一括コピー
BD-RE(2.1) RAM

消去
この日付の写真消去
アルバム消去

日付を変更
日付を変更
●日付別一覧のときのみ

アルバム名を付ける
アルバム名編集
●アルバム一覧のときのみ

誤消去防止の設定 / 解除
プロテクト設定 / 解除
●アルバム一覧のときのみ

選択した日付またはアルバムを既存のアルバムにコピーします。

4「コピー開始」を選び、(決定)を押す

5 コピー先のアルバムを選び、(決定)を押す

●プロテクト設定されたアルバムにはコピーできません。

選択した日付またはアルバムを新しいアルバムにコピーします。

4「コピー開始」を選び、(決定)を押す

5（コピー終了後）

「はい」または「いいえ」を選び、(決定)を押す

☞ **「はい」のときには**

アルバム名を付けます。(➜79)

☞ **「いいえ」のときには**

アルバムの 1 枚目の写真の撮影日が、自動的にアルバム名になります。

(撮影日情報がない場合は、「撮影：---- 年 -- 月 -- 日」になります)

「コピー開始」を選び、(決定)を押す

コピー先について

●「日付別一覧」「アルバム一覧」の写真はコピー先でもそれぞれ「日付別一覧」「アルバム一覧」にコピーされます。

消去すると記録内容が消え、元に戻すことができません。消去してよいか確認してから行ってください。

「消去」を選び、(決定)を押す

●RAM BD-RE(2.1) 日付やアルバム内に DCF 規格以外のファイルがある場合や下位フォルダがある場合は、その日付やアルバム自体は消去されません。

4 年月日を選び、[▲] [▼] で設定する

5 (決定)を押す

●変更元の日付は残ります。不要な場合は、消去してください。

●変更した日付が、既存の日付の場合、その日付に写真を移動します。

☞ **文字入力については（➜79）**

●入力したアルバム名は、他の機器では表示されないことがあります。

「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、(決定)を押す

●プロテクト設定すると「🔒」が表示されます。

●プロテクトの設定は、他の機器では解除されることがあります。

お知らせ

●コピー中や、「日付を変更」を実行中は予約録画は実行されません。

●上位フォルダに「既存アルバムにコピー」、「新規アルバムにコピー」を実行することはできません。

写真（JPEG）を編集する（つづき）

写真単位で編集する

HDD BD-RE(2.1) RAM SD

1 停止中に、 **を押す**

HDD BD-RE(2.1) RAM

☞ **写真が表示されないときは**
［赤］を押す

☞ **表示方法を切り換えるには**
①［サブ メニュー］を押す
②「日付別表示へ」または「アルバム表示へ」を選び、［決定］を押す

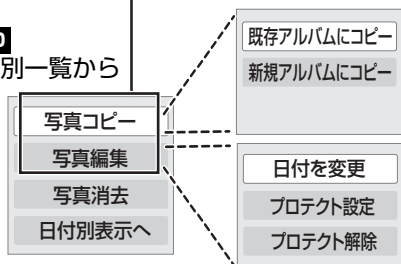
SD「写真（JPEG）一覧」が表示されます。
（➜ 手順３へ）

2 日付またはアルバムを選び、決定を押す

3 写真を選び、サブメニュー S を押す

4 項目を選び、決定 を押す（➜ 右記へ）

この項目を選んだときは、さらに項目を選んで、［決定］を押してください。

例）HDD
日付別一覧から

項目	説明
既存のアルバムに写真をコピー 既存アルバムにコピー HDD BD-RE(2.1) RAM	選択した写真を既存のアルバムにコピーします。 ☞ **操作方法は（➜62）**
新しいアルバムを作成し写真をコピー 新規アルバムにコピー HDD BD-RE(2.1) RAM	選択した写真を新しいアルバムにコピーします。 ☞ **操作方法は（➜62）**
日付を変更 日付を変更 HDD BD-RE(2.1) RAM ●日付別一覧のときのみ	●変更した日付が、既存の日付の場合、その日付に写真を移動します。 ●変更した日付が、新規の日付の場合、新しい日付を作成し、写真を移動します。 ☞ **操作方法は（➜62）**
消去 写真消去	☞ **操作方法は（➜62）**
誤消去防止の設定/解除 プロテクト設定/解除	☞ **操作方法は（➜62）**
プリンターや写真店でプリントする枚数の設定 DPOFプリント設定 SD	カードに残量がない場合は設定できません。 **［◀］［▶］で枚数を選び、決定 を押す** ●マークが表示されます。 ●設定は他の機器で表示されない場合があります。 ●設定すると、他の機器での設定は解除されます。 ●この設定はSD カードをプリンターに直接挿して印刷するときに有効です。 ☞ **設定を解除するには** 「0 枚」に設定する

☞ **前の画面に戻るには**
戻る を押す

☞ **画面を消すには**
 を押す

お知らせ
●コピー中や、「新規アルバムにコピー」、「日付を変更」を実行中は予約録画は実行されません。

SDカードの写真（JPEG）を取り込む

SD ➡ HDD

取り込んだ SD カードや写真の情報を保持しているため、同じカードから、複数回取り込むときは、新たに追加された写真（JPEG）のみを取り込みます。

お知らせ

- 同じ写真をもう一度取り込みたい場合は、「詳細ダビング」(➜ 66) を行ってください。
- SD カードの情報は、30 枚分のカードと 1 枚のカードにつき写真 12000 枚分を保持します。それ以上になると古い情報から削除します。
- プリント枚数の設定（DPOF）は取り込みされません。
- HDD の容量や、ファイルやフォルダの数 (➜ 131) が最大数になった場合は、途中で取り込みを中止します。
- 取り込み中は予約録画は実行されません。

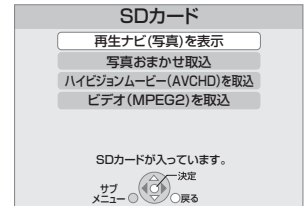
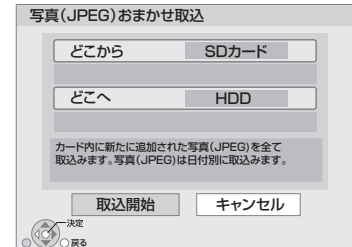
☞ **前の画面に戻るには**

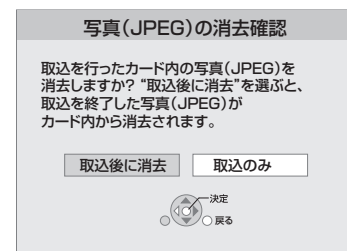
戻る を押す

☞ **取り込みを実行中に中止するには**

戻る を 3 秒以上押す

1 停止中に、SD カードを入れる

2 「写真おまかせ取込」を選び、決定 を押す

3 「取込開始」を選び、決定 を押す

- カードの誤消去防止設定（プロテクト）を
  していた場合　：取り込みを始めます
  していない場合：手順 4 へ

4 「取込後に消去」または「取込のみ」を選び、決定 を押す

取込後に消去：取り込みの終わった写真を SD カードから消去します。（プロテクト設定された写真は消去しません）

取込のみ　：写真は消去しません。

- 写真は、撮影日時に基づいて日付別に分類されます。撮影日時のデータがない写真は作成された日を使用して分類されます。
- 再生ナビの「日付別一覧」で、新たに追加された写真のある日付には、NEW を表示します。

写真（JPEG）をダビングする

HDD BD-RE(2.1) RAM SD

- CD-R や CD-RW に記録された写真はダビングできません。

SD

停止中に SD カードを入れると、下記の画面が表示されます。
[戻る] を押して、画面を消してください。

- 表示される項目はＳＤカードに記録されている内容によって異なります。

お知らせ

- ダビング先の容量や、ファイルやフォルダの数（➜ 131）が最大数になった場合は、途中でダビングを中止します。
- （アルバム単位のダビングの場合）ダビング元のアルバム名が入力されていないときは、ダビング先ではアルバム名の番号が変わることがあります。ダビング前にアルバム名を入力することをお勧めします。
（➜ 62「アルバム名編集」）
- プリント枚数の設定（DPOF）はダビングされません。
- SD からダビングする場合、写真は撮影日時に基づいて日付別に分類されます。撮影日時のデータがない写真は、作成された日を使用して分類されます。
- ダビング中は予約録画は実行されません。

☞ **前の画面に戻るには**
戻る を押す

☞ **ダビングを実行中に中止するには**
戻る を 3 秒以上押す

詳細ダビング

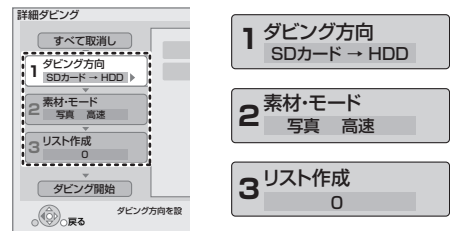
ダビング方向: HDD ➡ BD-RE(2.1) RAM SD、BD-RE(2.1) RAM ➡ HDD SD
SD ➡ HDD BD-RE(2.1) RAM

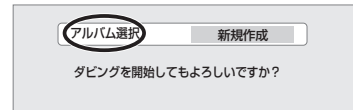
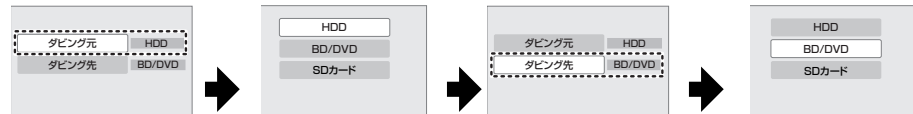
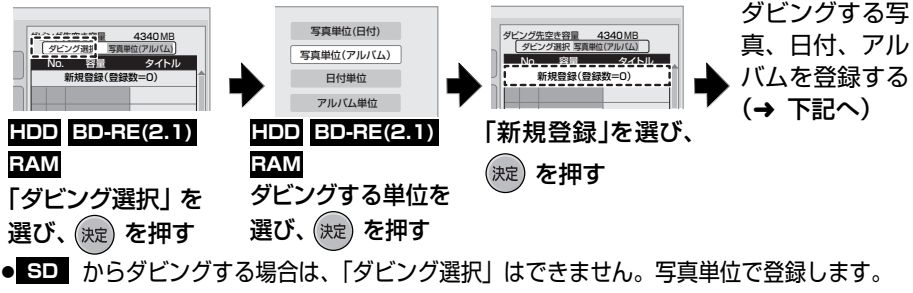
準備 ● BD-RE、DVD-RAM または SD カードを入れる。

1 停止中に、 **を押す**

2 「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

3 「詳細ダビング」を選び、決定 を押す

4 設定したい項目を選び、[▶] を押す（➜ 右ページへ）

5 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

- HDD ➡ BD-RE(2.1) RAM、BD-RE(2.1) RAM ➡ HDD
［写真単位（アルバム）のダビングの場合］
別のアルバムをダビング先に指定できます。

①「アルバム選択」を選び、[決定] を押す
②アルバムを選び、[決定] を押す

6 「はい」を選び、決定 を押す

- ダビングを始めます。

ダビング先について

- HDD ➡ BD-RE(2.1) RAM、BD-RE(2.1) RAM ➡ HDD
  - ・[写真単位（日付）、日付単位のダビングの場合]
  ダビング先：日付別一覧
  - ・[写真単位（アルバム）、アルバム単位のダビングの場合]
  ダビング先：アルバム一覧
- SD ➡ HDD BD-RE(2.1) RAM
  - ・ダビング先：日付別一覧

画面表示の例）ダビング元に「HDD」、ダビング先に「BD/DVD」を選び、写真をダビングするとき

何から何にダビング？

1　ダビング方向

「ダビング元」を選び、(決定) を押す → ダビング元を選び、(決定) を押す → 「ダビング先」を選び、(決定) を押す → ダビング先を選び、(決定) を押す

ダビング素材の設定

2　素材・モード

「ダビング素材」を選び、(決定) を押す → 「写真」を選び、(決定) を押す

●録画モードは自動的に「高速」になり、変更できません。

ダビングする写真を選ぶ

3　リスト作成

HDD BD-RE(2.1) RAM
「ダビング選択」を選び、(決定) を押す

HDD BD-RE(2.1) RAM
ダビングする単位を選び、(決定) を押す

「新規登録」を選び、(決定) を押す

→ ダビングする写真、日付、アルバムを登録する（➜ 下記へ）

● SD からダビングする場合は、「ダビング選択」はできません。写真単位で登録します。

☞ **写真単位（日付 / アルバム）で登録するときは**

写真を選び、(一時停止 おすすめチャンネル) を押す

● ☑ が表示されます。操作を繰り返します。

すべてを選んだあと、(決定) を押す

☞ HDD BD-RE(2.1) RAM **別の日付 / アルバムの写真を選ぶには**

① [サブ メニュー] を押す
②「日付選択」または「アルバム選択」を選び、[決定] を押す
　・BD-RE(2.1) RAM 上位フォルダを切り換えるには（➜ 下記）
③ [▲] [▼] [◀] [▶] で日付またはアルバムを選び、[決定] を押す

☞ HDD BD-RE(2.1) RAM **日付単位 / アルバム単位で登録するときは**

ダビングする日付またはアルバムを選び、(一時停止 おすすめチャンネル) を押す

● ☑ が表示されます。操作を繰り返します。

すべてを選んだあと、(決定) を押す

● 別々の日付やアルバムの写真を同じリストに登録することはできません。
● 登録後は、ダビングする単位を切り換えることはできません。

☞ **ダビングの便利な機能（➜47）**

[◀] を押す（左ページ手順 4 へ戻る）

上位フォルダを切り換えるには	
BD-RE(2.1) RAM（本機で認識できる上位フォルダがある場合のみ） ●アルバム一覧のときのみ	① [サブ メニュー] を押す ②「上位フォルダ選択」を選び、[決定] を押す ③ [◀] [▶] でフォルダを選び、[決定] を押す ●上位フォルダの異なるアルバムを同じリストに登録することはできません。

音楽 CD を再生する

CD

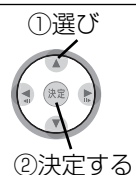
再生について

- ダビング中は再生できません。
- **初期設定**「テレビ画面の焼き付き低減機能」（➜87）が「入」の場合、再生中に、約 10 分以上本機の操作を行わなかったときは、写真のスライドショー画面が表示されます。（[**戻る**] を押すと、元の画面に戻ります）

☞ **前の画面に戻るには**

戻る を押す

☞ **画面を消すには**

戻る を数回押す

1 音楽 CD を入れる

自動的に再生が始まります。

☞ **別の曲を再生するには**

再生したい曲を選び、[**決定**] を押す

音楽再生中のいろいろな操作

CD

停止	[停止] を押す	
一時停止	[一時停止/お好みチャンネル] を押す	●もう一度押す、または [▶ 再生] を押すと、再生を再開します。
早送り・早戻し	[◀◀ サーチ/スロー] または [▶▶ サーチ/スロー] を押す	●[▶ 再生] で通常再生に戻ります。 ●音声は出ません。
スキップ	再生中または一時停止中に [|◀◀ スキップ] または [▶▶| スキップ] を押す	押した回数だけ曲を飛び越して再生します。

リピート ランダム

1 [再生設定] (ふた内部) を押す

2 [▲] [▼] で「再生」を選び、[▶] を押す

3 [▲] [▼] で「リピート」または「ランダム」を選び、[▶] を押す

4 [▲] [▼] で項目を選ぶ

リピート： 繰り返し再生の方法を選びます。
- ●切
- ●全曲：選んだアルバムなどの全曲
- ●1 曲：選んだ曲のみ

ランダム： 選んだアルバムなどの全曲を順不同に再生します。
- ●切
- ●入

サラウンド

音声圧縮処理によって欠落したデジタル信号の高音域部分を復元することで、より豊かな音質を楽しめます。

- ●音声がひずむ場合、「切」にしてください。
- ●再生する内容によっては、効果が現れない場合があります。

1 [再生設定] (ふた内部) を押す

2 [▲] [▼] で「音声」を選び、[▶] を押す

3 [▲] [▼] で「音質効果」を選び、[▶] を押す

4 [▲] [▼] で項目を選ぶ

サラウンド標準
サラウンド強
切

- ●HDMI 出力やデジタル音声出力時は、**初期設定**「デジタル出力」が「PCM」の場合のみ働きます。(➜86)（ただし、デジタル音声出力端子に接続時は、2 チャンネルの音声になります）

音楽再生中のいろいろな操作（つづき）

写真のスライドショーの表示

音楽再生中に、［青］を押す

●写真の表示間隔は一定になり、リピート再生します。

☞ **スライドショーを停止するには**

［戻る］を押す

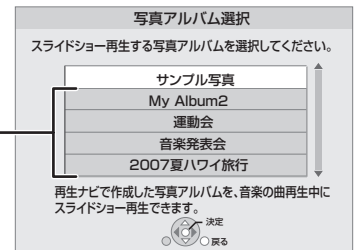
（音楽を停止したときも、停止します）

表示させる写真を変更する

本機では、スライドショーで表示させる写真を、あらかじめ内蔵されているサンプル写真または HDD の「アルバム」の写真から選ぶことができます。

① スライドショー再生中に、[サブ メニュー] を押す
② [▲] [▼] で「写真アルバム選択」を選び、[決定] を押す
③ [▲] [▼] でアルバムなどを選び、[決定] を押す

HDD の「アルバム」が表示されます。（➜59）

●写真が 1 枚もないアルバムは表示されません。

写真を消去する

HDD BD-RE(2.1) RAM SD

●消去すると記録内容が消え、元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください。

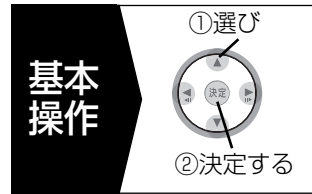
●[HDD] または [BD/SD] を押して、ドライブを選ぶ。

1 [操作一覧] **を押す**

2「消去する」を選び、(決定)**を押す**（➜ 下記へ）

☞ **「写真」が表示されないときは**
[赤] を押す

例）HDD

[サブ メニュー] を押すと、内容確認やプロテクト解除などが行えます。

写真を消去	日付単位・アルバム単位	**3 日付またはアルバムを選び、**[消去]**を押す** **4「消去」を選び、**(決定)**を押す**	☞ **複数の写真などをまとめて消去するには** 写真などを選び、[❚❚ 一時停止] を押す ●☑ が表示されます。操作を繰り返します。 もう一度 [❚❚ 一時停止] を押すと解除されます。
	写真単位	**3** HDD BD-RE(2.1) RAM **日付またはアルバムを選び、**(決定)**を押す** **4 写真を選び、**(決定)**を押す** **5「消去」を選び、**(決定)**を押す**	

☞ **前の画面に戻るには**

を押す

☞ **画面を消すには**

を数回押す

フォーマットする

DVD の場合、フォーマットすることによって、記録方式を設定できます。

フォーマットすると、記録した内容はすべて消去され元に戻すことができません。(パソコンデータなども含む)すべて消去してよいか確認してから行ってください。(番組やフォルダ、ディスクやカードにプロテクトを設定していても消去されます)

■ ディスクの記録方式とフォーマットについて

ディスクの種類と記録方式によりフォーマットが必要な場合があります。

ディスクは?	記録方式は?	フォーマットが必要か?	備考
BD-RE(2.1) BD-R	—	必要	記録方式の設定はありません。 どの番組でも記録できます。
RAM	VR 方式	— (ディスクによる)	市販のディスクでフォーマット済みの場合は、フォーマットを行わずに記録できます。 ●フォーマットが必要な場合は、「標準画質で記録 (VR 方式)」を選んで、フォーマットしてください。
	ビデオ方式	ビデオ方式はありません。	
	AVCREC 方式	必要	「ハイビジョン画質で記録 (AVCREC 方式)」
-R -R DL	VR 方式	必要	「標準画質で記録 (VR 方式)」
	ビデオ方式	不要	フォーマットせずに記録できます。
	AVCREC 方式	必要	「ハイビジョン画質で記録 (AVCREC 方式)」
-RW	VR 方式	必要	「VR 方式」
	ビデオ方式	必要	「ビデオ方式」
	AVCREC 方式	AVCREC 方式はありません。	

☞ **それぞれの記録方式の特徴は?** (➜90)

お知らせ

●-R -R DL 記録やフォーマットすると記録方式を変更できません。
●RAM -RW 記録やフォーマットしても、再度フォーマットすれば記録方式を変更できます。
●本機でフォーマットした場合、本機以外の機器で使えないことがあります。
●CD-R/RW、記録済みの BD-R、DVD-R、DVD-R DL はフォーマットできません。
●HDD フォーマットは、初期設定「HDD のフォーマット」(➜86) で行ってください。

BD-RE(2.1) BD-R RAM -R -R DL -RW SD

準備 ●ディスクまたは SD カードを入れる。

1 **を押して、「BD」または「SD」を選ぶ**

2 停止中に、 操作一覧 を押す

3「その他の機能へ」を選び、 決定 を押す

4「BD 管理」、「DVD 管理」または「カード管理」を選び、 決定 を押す

5 フォーマットの項目を選び、 決定 を押す (➜ 下記へ)

例）BD-RE(2.1)

BD-RE のフォーマット

6「はい」を選び、 決定 を押す

7「実行」を選び、 決定 を押す

●未使用のディスクのみ

BD-R のフォーマット

DVD-RAM のフォーマット

6 記録方式を選び、 決定 を押す

7「はい」を選び、 決定 を押す

8「実行」を選び、 決定 を押す

●未使用のディスクのみ

DVD-R のフォーマット

6 記録方式を選び、 決定 を押す

7「はい」を選び、 決定 を押す

8「実行」を選び、 決定 を押す

●フォーマットせずに記録した場合、記録方式はビデオ方式になります。

DVD-RW のフォーマット

6 記録方式を選び、 決定 を押す

7「実行」を選び、 決定 を押す

SD

カードのフォーマット

6「カードのフォーマット」を選び、 決定 を押す

7「はい」を選び、 決定 を押す

8「実行」を選び、 決定 を押す

お願い

フォーマット実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクやカードが使えなくなることがあります。

お知らせ

- フォーマットには通常は数分（RAM最大約 70 分）かかります。
  RAM -RW(VR) 2 分以上かかる場合のみ [戻る] を押すと中止できます。
- ディスクに汚れや傷があると、フォーマットに時間がかかったり、できない場合があります。

☞ **前の画面に戻るには**

戻る を押す

☞ **画面を消すには**

戻る を数回押す

ディスク名入力 / ディスクプロテクト / 全番組消去

（ファイナライズしたディスクではできません）

準備 ●ディスクを入れる。

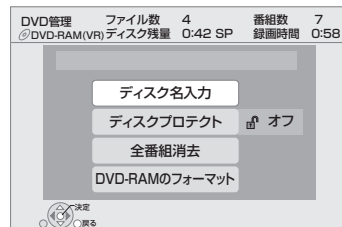
1 BD/SD を押して、「BD」を選ぶ

2 停止中に、 を押す

3「その他の機能へ」を選び、決定を押す

4「BD 管理」または「DVD 管理」を選び、決定を押す

5 操作したい項目を選び、決定を押す（➜ 下記へ）

例）RAM

ディスクに名前を付ける

ディスク名入力

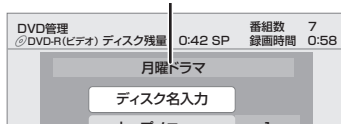
BD-RE(2.1) BD-R RAM -R -R DL -RW

☞ **文字入力については（➜ 79）**

●-R -R DL 未使用の場合、ディスク名を入力すると、ビデオ方式になります。VR 方式や AVCREC 方式で記録したい場合は、先にフォーマットしてください。（➜ 72）

入力したディスク名は、「BD 管理」、「DVD 管理」画面に表示されます。

-R(V) -R DL(V) -RW(V) ファイナライズ後はトップメニューに表示されます。

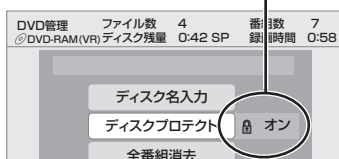
例）-R(V)

誤消去防止の設定 / 解除

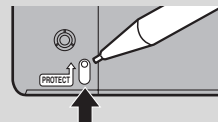
ディスクプロテクト

BD-RE(2.1) BD-R RAM -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) -RW(VR)

ディスクの内容を誤って消去しないようにできます。

6「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、決定を押す

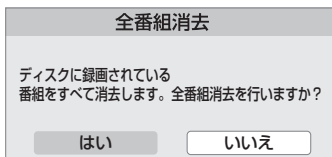
プロテクト設定すると「🔒 オン」が表示

カートリッジ付き DVD-RAM の場合

左記の設定なしで、ディスクで誤消去防止設定ができます。

全番組の消去

全番組消去

BD-RE(2.1) BD-R RAM -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) -RW(VR)

実行すると元に戻すことはできません。

例）RAM

6「はい」を選び、決定を押す

7「実行」を選び、決定を押す

お知らせ

●全番組消去すると、プレイリストもすべて消去されます。

●プロテクトを設定した番組がある場合は、消去できません。

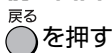
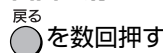
●BD-RE(2.1) RAM 写真や音楽データ（RAM のみ）は消去されません。

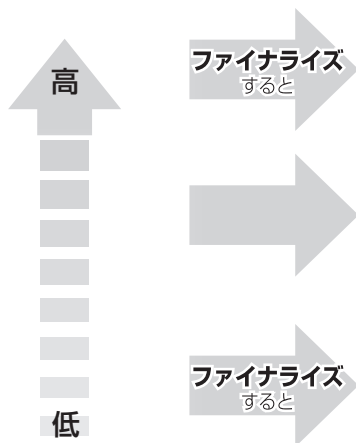
●BD-R -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) 消去しても残量は増えません。

☞ **前の画面に戻るには**

戻る を押す

☞ **画面を消すには**

戻る を数回押す

他の機器で再生できるようにする（ファイナライズ）

本機で記録したディスク	他機器との互換性		他機器での再生
ビデオ方式	高	ファイナライズすると	DVD プレーヤーなどで再生できます。ファイナライズ後、記録状態によっては他の機器で再生できない場合があります。
VR方式			ディスクと VR 方式の再生に対応しているか確認してください。
AVCREC方式	低	ファイナライズすると	再生するディスクの AVCREC 方式に対応している必要があります。 対応機器には AVCREC™ が付いています。 ●対応機器以外で使用しないでください。ディスクがフォーマットされたり、取り出せなくなるなど故障の原因になります。 ☞ **対応機器で再生できないときは** （➜85「HG ～ HE のディスク記録音声」）

BD-RE RAM ファイナライズは不要です。

左 ページ手順 1 ～ 5 のあとに操作します。

メニュー画面の背景の設定

トップメニュー

-R(V) -R DL(V) -RW(V)

ファイナライズ後、再生時に表示されるトップメニューの背景を設定できます。

6 お好みの背景を選び、（決定）を押す

●トップメニュー内に表示される画像（サムネイル）は変更できます。（➜40「サムネイル変更」）

再生の始まりかたの設定

ファーストプレイ選択

-R(V) -R DL(V) -RW(V)

ファイナライズ後、再生の始めかたを設定できます。

6「トップメニュー」または「タイトル 1」を選び、（決定）を押す

トップメニュー ：番組再生前に、メニュー画面を表示する
タイトル 1 ：先頭の番組から再生する

ファーストプレイ選択
トップメニュー
タイトル1

他の BD/DVD 機器で再生できるようにする

他の DVD 機器再生（ファイナライズ）

-R -R DL -RW

他の BD 機器再生（ファイナライズ）

BD-R

6「はい」を選び、（決定）を押す

7「実行」を選び、（決定）を押す

●ファイナライズは、数分から最大約 60 分かかります。（実行中は中止できません）

●高速記録対応ディスクの場合、確認画面に表示される時間より長くかかることがあります。（最大約 4 倍）

他のDVD機器再生（ファイナライズ）
他のDVD機器で再生するには、ファイナライズが必要です。開始すると約○分かかります。
ファイナライズを行いますか?
はい　いいえ

お願い

ファイナライズ実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクが使えなくなることがあります。

ファイナライズすると…

●再生専用となり、記録や編集はできなくなります。

・ -RW(V) フォーマット（➜72）すると、記録や編集ができます。ただし記録していた番組などはすべて消去されます。

・ -RW(VR)「ファイナライズ解除」（➜ 下記）を行うと、記録や編集ができます。

お知らせ

●本機以外の機器で記録したディスクはファイナライズできないことがあります。

ファイナライズの解除

ファイナライズ解除

-RW(VR)

ファイナライズを解除して、記録や編集を行えるようにします。

●ビデオ方式のディスクでは解除できません。

●本機以外の機器でファイナライズしたディスクは、本機では解除できない場合があります。

6「はい」を選び、（決定）を押す

7「実行」を選び、（決定）を押す

☞ **前の画面に戻るには**

戻る を押す

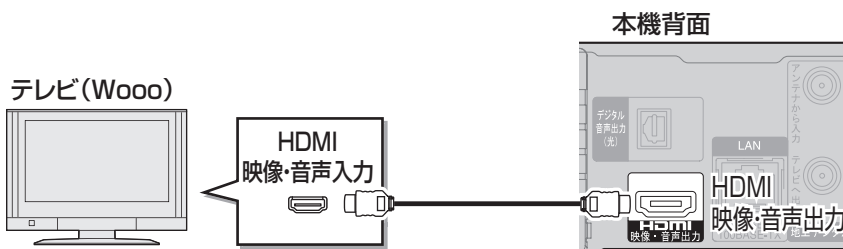
☞ **画面を消すには**

戻る を数回押す

Wooo リンクを使う

Wooo リンク（HDAVI Control ™）とは
●本機と HDMI ケーブル（市販品）を使って接続した Wooo リンク対応機器を自動的に連動させて、リモコン 1 つで簡単に操作できる機能です。各機器の詳しい操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
※すべての操作ができるものではありません。
●Wooo リンクは、HDMI CEC(Consumer Electronics Control) と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製 HDMI CEC 対応機器との動作保証はしておりません。

接続

本機と Wooo リンクに対応した当社製テレビ（Wooo）を HDMI ケーブルで接続する（➜ 準備編 8）

☞ アンプと接続する場合は
（➜ 準備編 11）

設定

①初期設定「Wooo リンク制御」（➜88）を「入」にする（お買い上げ時の設定は「入」）
②接続した機器側（テレビなど）で、Wooo リンクが働くように設定する
③すべての機器の電源を入れ、一度テレビの電源を切 / 入したあと、テレビの入力を「HDMI 入力」に切り換えて、画像が正しく映ることを確認する（接続や設定を変更した場合にも、この操作をしてください）
●初期設定「クイックスタート」（➜84）を「入」にすると、本機の電源「入」に伴う連動操作をすばやく行うことができます。
●初期設定「Wooo リンク録画待機」（➜88）を「入」にすると、テレビ（Wooo）からの録画を数秒で開始できます。

Wooo リンク Q & A

Q（質問）		A（回答）
お使いのテレビやアンプが Wooo リンク対応かわからないときは？		機器の取扱説明書をご覧ください。
Wooo リンクでできる機能は？		●Wooo リンクに対応したテレビ（Wooo）と接続している場合は、以下の操作を行うことができます。 ・本機で再生すると、テレビの電源が自動的に入り、入力が切り換わります。 ・テレビの電源を切ると、本機の電源も自動的に切れます。
テレビ（Wooo）側から録画（「見ている番組を録画」など）したとき		
	録画モードや録画先は？	本機であらかじめ設定された録画モードで HDD に録画します。
	録画ができないときは？	●すでに本機が「見ている番組を録画」を実行しているときは、新たに「見ている番組を録画」はできません。 ●本機に契約された B-CAS カードが挿入されていないとき。
Wooo リンクが働かなくなった場合は？		●設定を確かめてください。 （➜122「Wooo リンクが働かない」）

自動的にテレビの電源を入れ、入力を切り換える

●テレビの電源が待機状態のときのみ

下記のボタンを押すと、テレビが連動し、それぞれの画面が現われます。

本機電源入時	1.3 倍速 ▶ 再生	予約確認	番組表	再生ナビ	Gコード	操作一覧
本機電源切時	1.3 倍速 ▶ 再生	予約確認	番組表	再生ナビ	Gコード	

自動的に本機の電源を切る

リモコンを使ってテレビの電源を切ると、自動的に本機の電源も切れます。
（ダビング、ファイナライズ、消去、バックアップ、復元、[●録画] を押して録画などの実行中は切れません）
●Wooo リンクに対応したアンプと HDMI ケーブルで接続している場合は、アンプの電源も切れます。

テレビのリモコンで本機の操作

テレビの操作はテレビの取扱説明書をご覧ください。

1　テレビのリモコンを使って、Wooo の「操作一覧」を表示させる

●テレビによって、Wooo の「操作一覧」を表示させる方法や画面は異なります。

例）

Wooo リンク を押す

「レコーダー操作一覧」を選び、決定する

Woooリンク
シアターサウンドに切換
レコーダー 録画開始 ●
レコーダー 録画停止 ■
□レコーダー 操作一覧
レコーダー サブメニュー

●自動的に本機の電源も入ります。

☞ **操作一覧画面について**（➜132）

2　テレビのリモコンで操作したい項目を選び、[決定] を押す

再生中の番組などを操作する

再生操作パネル表示中はテレビのリモコンで早送り・早戻し（サーチ）、停止などの操作ができます。
① 番組や写真を再生中、[サブ メニュー] を押す
② [▲][▼] で「再生操作パネル」を選び、[決定] を押す
●再生操作パネルが表示されます。
●画面表示に従って操作してください。

例）番組再生時

一時停止　再生
サーチ　サーチ
停止　表示を消す
この再生操作パネルはサブメニューから表示できます。

●音楽再生時は再生操作パネルは表示されません。画面表示に従って操作してください。

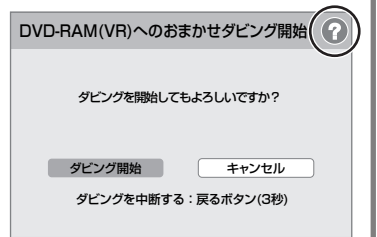
☞ **音楽の再生を止める**
[戻る] を数回押す
テレビのリモコンに Wooo の**停止ボタン**がある場合は、Wooo に向けて**停止ボタン**を押して再生を止めることができます。

☞ **テレビのリモコンで操作できるボタンは？**
[▲] [▼] [◀] [▶] [決定] [戻る] [サブ メニュー] と色ボタン
数字ボタンなどの上記以外のボタンを使って操作するときは、本機のリモコンを使用してください。

上記以外の機能については、接続した機器（テレビなど）の取扱説明書をご覧ください。

☞ **Wooo リンクを使わない場合は**
初期設定「Wooo リンク制御」（➜88）を「切」にする。

ガイドボタンについて

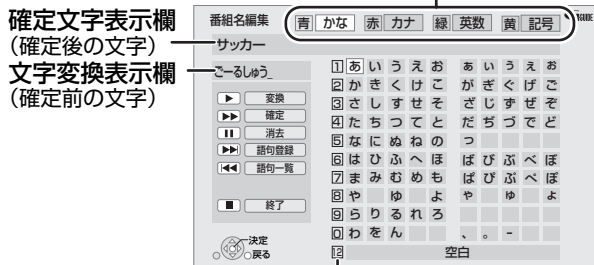
ガイドボタン	☞ **右記のようなマーク ? が付いた画面が表示されたとき** ガイド ? を押すと、操作に対する補足説明を表示します。	例）

文字入力

HDD BD-RE(2.1) BD-R RAM -R -R DL -RW
録画した番組などに名前を付けることができます。

1 入力画面を表示する

予約番組の番組名（➜29「番組名入力」）
記録済みの番組の番組名（➜ 40「番組名編集」）
ディスク名（➜ 74「ディスク名入力」）
写真のアルバム名（➜ 62「アルバム名編集」）

2 青（かな）、赤（カナ）、緑（英数）、黄（記号）で文字の種類を選び、決定を押す

●漢字を入力するときは、まず「かな」を選びます。

3 入力する文字を選び、決定を押す

☞ **ひらがなを入力するには**
[▶▶]（確定）を押す

☞ **ひらがなを漢字変換するには**
① [▶ 再生]（変換）を押す
●変換候補選択画面が表示されます。
② 変換したい漢字の候補を選び、[決定] を押す
●[|◀◀] または [▶▶|] で前後のページを表示します。
●[戻る] を押すと、入力画面に戻ります。

☞ **よく使う語句の登録 / 呼び出し**（➜ 右記）

☞ **消去するには**
[❚❚ 一時停止]（消去）を押す
●この手順を繰り返し、文字を入力します。

4 入力が終わったら、停止（終了）を押す

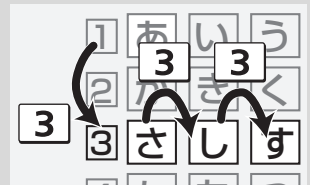
5 「保存」を選び、決定 を押す

●番組一覧などのそれぞれの画面に戻ります。

☞ **前の画面に戻るには**
戻る を押す

☞ **途中で終わるには**
戻る を数回押す
（入力した文字は保存されません）

よく使う語句を登録する	登録できる語句数：20 登録できる文字数（1 個あたり）: 英数　先頭から 20 文字 その他　先頭から 10 文字 **1 語句を入力する** **2 スキップ ▶▶|（語句登録）を押す** **3 「登録」を選び、決定を押す**
登録した語句を呼び出す	**1 スキップ |◀◀（語句一覧）を押す** **2 語句を選び、決定を押す**
登録した語句を消去する	**1 スキップ |◀◀（語句一覧）を押す** **2 消去する語句を選び、サブメニューを押す** **3 「語句消去」を選び、決定を押す** **4 「消去」を選び、決定を押す**

数字ボタン [1] ～ [10/0]、[12✱] でも文字を入力できます。
例：ひらがな「す」を選ぶ場合
1 [3] を押す
●「さ」行に移動します。
2 [3] を 2 回押し、[決定] を押す
●「す」が文字変換表示欄に表示されます。

入力できる文字数について

	種類	英数	その他
HDD	番組名	64	32
	写真のアルバム名	36	18
BD-RE(2.1) BD-R RAM(AVCREC) -R (AVCREC) -R DL(AVCREC)	番組名※	254	127
	写真のアルバム名（BD-RE(2.1) RAM(AVCREC)）	36	18
	ディスク名	254	127
RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)	番組名	64	32
	写真のアルバム名（RAM(VR) のみ）	36	18
	ディスク名	64	32
-R(V) -R DL(V) -RW(V)	番組名	44	22
	ディスク名	40	20

お知らせ

※予約番組の番組名　英数：64 文字　その他：32 文字
●入力したすべての文字が表示されない画面もあります。
●入力または表示可能な漢字コードは、JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準のみです。
● BD-RE(2.1) BD-R RAM(AVCREC) -R (AVCREC) -R DL(AVCREC) 文字の種類によって入力できる文字数が少なくなることがあります。

いろいろな情報を見る（メール / 情報）

放送局から届くメールや、その他本機が送受信する情報などを確認します。

メール / 情報の基本操作

1 停止中に［操作一覧］を押す

2 [▲] [▼] で「その他の機能へ」を選び、［決定］を押す

3 [▲] [▼] で「メール / 情報」を選び、［決定］を押す

4 [▲] [▼] で確認する項目を選び、［決定］を押す

メール/情報
放送メール
購入記録
購入記録送信結果
双方向通信一覧
B-CASカード
ID表示
ボード
お好みページ
決定
戻る

☞ **前の画面に戻るには**
［戻る］を押す

☞ **画面を消すには**
［戻る］を数回押す

項目	内容	
放送メール	放送メールには、放送局からのお知らせ（最大 31 通まで保存）や、本機の機能向上のためのダウンロード情報（最新の 1 通のみ保存）などがあります。 **[▲] [▼] で確認したいメールを選び、[決定] を押す** ●ダウンロード情報が届いたときは、画面の下部にダウンロード予約ボタンが表示されます。予約を「する」または「しない」を選んでください。 「する」を選んだ場合、メールに記載されているダウンロード開始時刻の約５分前には、電源を切っておいてください。 ※ダウンロード予約の設定が「自動」の場合は、ダウンロード予約ボタンは表示されず、自動的にダウンロードが行われます。 ☞ **ダウンロード予約の設定については（➜ 準備編 32）** ●メールが最大保存数を超えると、日付の古い順に消去されます。 ●メールの送信や返信はできません。	
購入記録	購入した有料番組を確認できます。	☞ **累計金額をリセット（0円に戻す）するには** ① [取消し /11 ＃] を押して、リセット画面を表示させる ② [◀] で「はい」を選び、[決定] を押す
購入記録送信結果	有料番組の購入情報が正しく送信されているかどうか確認します。 ●前回の送信結果として、送信失敗のために再送信をうながす旨が表示される場合があります。その場合は「送信」を選び、[決定] を押すと再送信できます。	最新の送信記録 ― 購入記録送信結果 番組の購入記録を送信しました。 送信 前回の送信結果 ― カスタマーセンターとの通信に成功しました。
双方向通信一覧	データ放送で電話回線を利用した履歴などを確認します。	
B-CAS カード	契約されている各委託放送事業者への問い合わせなど、B-CASカードの番号が必要な場合に使用します。	
ID 表示	本機のソフトウェアに関する情報などを見るときに使用します。	☞ **その他の情報を見るには** ● [青]：本機のソフト情報を表示 ● [赤]：データ放送時のルート証明書情報を表示
ボード	110 度 CS デジタル放送から送られてくる、番組情報などのお知らせを確認します。 ① **[▲] [▼] で「CS1 ボード」または「CS2 ボード」を選び、[決定] を押す** ② **[▲] [▼] で確認したい情報を選び、[決定] を押す**	ボード CS1ボード CS2ボード
お好みページ	データ放送で、「お好みページ」の登録を行うと登録されます。今後、このようなデータ放送が徐々に増えてくる予定です。（2008 年 4 月現在） ただし、ページによっては本機で登録や表示ができないものがあります。 **[▲] [▼] でタイトルを選び、[決定] を押す** ●登録内容に従った動作が行われます。例えば、指定されたチャンネルに切り換わったりします。	☞ **お好みページを削除するには** ① [サブ メニュー] を押す ② 「削除」を選び、[決定] を押す ●データ放送からの指示により自動で消去してもよい場合は、「消去許可設定」で「許可」を選んだあと、「更新」を選び、[決定] を押します。

放送設定を変える（放送設定）

必要であれば設定を変更してください。設定内容は、電源を切っても保持されます。

放送設定の基本操作

1 停止中に [操作一覧] を押す

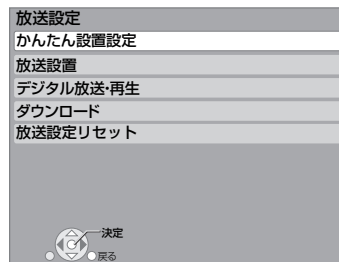
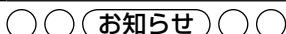
2 [▲] [▼] で「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す

3 [▲] [▼] で「放送設定」を選び、[決定] を押す

4 [▲] [▼] でメニューを選び、[決定] を押す

5 [▲] [▼] で設定項目を選び、[決定] を押す

●さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

6 [◀] [▶] で設定内容を変更する

放送設定
かんたん設置設定
放送設置
デジタル放送·再生
ダウンロード
放送設定リセット
決定
戻る

☞ **前の画面に戻るには**
[戻る] を押す

☞ **画面を消すには**
[戻る] を数回押す

◯◯（お知らせ）◯◯
●操作方法が異なる場合があります。画面の指示に従ってください。

メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
かんたん設置設定	かんたん設置設定（➜ 準備編 18）	→ [決定] を押して、さらに設定します。
放送設置	チャンネル設定（➜ 準備編 36 ～ 38）	→ [決定] を押して、さらに設定します。
	地上アナログ	
	地上デジタル	
	BS	
	CS1	
	CS2	
	番組表設定（➜ 準備編 28）	→ [決定] を押して、さらに設定します。
	G ガイド地域設定	▶ 札幌～沖縄
	番組表受信設定	BS768：（放送局からの案内がない限り、変更しないでください）
	G ガイド受信確認	G ガイド受信スケジュールを確認できます。
	地域設定（➜ 準備編 32）	→ [決定] を押して、さらに設定します。
	県域設定	▶ 東北海道～沖縄県
	郵便番号	ーーー - ーーーー（郵便番号）
	地域設定消去	▶ はい　▶ <u>いいえ</u>
	受信設定（➜ 準備編 29）	→ [決定] を押して、さらに設定します。
	地上デジタル	→ [決定] を押して、さらに設定します。
	アッテネーター	▶ オン　▶ <u>オフ</u>
	物理チャンネル選択 物理チャンネル（➜ 準備編 29）を指定してアンテナレベルを確認します。	▶ 物理チャンネル入力　ーー CH
	衛星	→ [決定] を押して、さらに設定します。
	アンテナ電源	▶ <u>オン</u>　▶ オフ 「オン」にした場合、テレビ側の衛星アンテナ電源も「入（オン）」にしてください。
	トランスポンダ選択	BS-1 ～ BS-15、CS-2 ～ CS-24
	衛星周波数	ーー . ーーーー GHz （放送局からの案内がない限り、変更しないでください）

放送設定を変える（放送設定）（つづき）

メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
放送設置（つづき）	電話設定（➜ 準備編 33）	→ [決定] を押して、さらに設定します。
	回線設定	▶ 自動　▶ プッシュ　▶ ダイヤル 20　▶ ダイヤル 10
	トーン検出 「回線設定」（➜ 上記）が「自動」以外のときに設定できます。	▶ する　▶ しない
	内線設定	−−−−−−−−−（内線番号）
	電話テスト	−−
	発信者番号通知	▶ 指定なし　▶ 通知する　▶ 通知しない
	電話会社設定	−−−−−−−−−（電話会社番号）
	マイラインプラス 「電話会社設定」（➜ 上記）を設定したときのみ設定できます。	▶ 解除する　▶ 解除しない
	B-CAS カードテスト（➜ 準備編 32）	−−
デジタル放送・再生	字幕の設定 デジタル放送の字幕や、番組からのお知らせなど（文字スーパー）を表示させるための設定です。 録画モード「DR」以外で録画した場合、設定した内容がそのまま録画され、再生時に切り換えできません。	→ [決定] を押して、さらに設定します。 字幕の設定 字幕　オン　オフ 字幕言語　日本語　英語 文字スーパー　オン　オフ 文字スーパー言語　日本語　英語 ●放送に設定した内容が含まれていない場合は設定通りに表示されません。 ●強制的に表示される字幕や文字スーパーなど、設定しても番組によって無効になる場合があります。 ●地上アナログ放送の文字放送（字幕）は見られません。
	字幕	▶ オン　▶ オフ
	字幕言語	▶ 日本語　▶ 英語
	文字スーパー	▶ オン　▶ オフ
	文字スーパー言語	▶ 日本語　▶ 英語

リモコンのボタンに割り当てられた放送局（2008 年 4 月現在）

●地上アナログ放送（➜ 準備編 42）
●地上デジタル放送（➜ 準備編 44）
●BS デジタル放送

番号	チャンネル	放送局名
1	101	NHK BS1
2	102	NHK BS2
3	103	NHK ハイビジョン
4	141	BS 日テレ
5	151	BS 朝日
6	161	BS-i
7	171	BS ジャパン
8	181	BS フジ
9	191	WOWOW
10	200	スター・チャンネル
11	211	BS11 デジタル
12	222	TwellV

●CS1（e2 by スカパー！）

番号	チャンネル	放送局名
1	001	e2 メイト
2		
3		
4		
5	055	ep055 チャンネル
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		

●CS2（e2 by スカパー！）

番号	チャンネル	放送局名
1	100	e2 プロモ
2	110	ワンテンポータル
3	123	CS 映画
4	147	ベルーナお買物テレビ
5	250	アクティブ！スポーツ
6	160	C-TBS ウェルカム
7	177	ショップチャンネル
8	258	フジテレビ 739
9	194	AQ ステーション
10	101	宝塚プロモチャンネル
11	290	宝塚スカイ・ステージ
12	232	スター・クラシック

●放送局名やチャンネル番号は、実際の表示と異なる場合があります。

メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
デジタル放送・再生（つづき）	**制限項目設定** ●視聴制限のある番組の視聴できる年齢や購入金額の上限を設定できます。 ●上限を超える番組を見るときは、暗証番号の入力が必要です。 ●年齢制限を超える番組は、番組表（Gガイド）などで「・・・」と表示されます。	→［決定］を押して、さらに設定します。 暗証番号登録 0～9 番号入力 # 1文字削除 戻る 視聴制限を利用するには暗証番号登録が必要です。暗証番号を入力してください。 ＿ ＿ ＿ ＿ **画面の指示に従って［1］～［10/0］を押し、暗証番号（4けた）を入力する** ●10秒間ボタン操作がないと、元の画面に戻ります。 ●初めて入力するときは番号を2回入力し、登録します。暗証番号は、忘れないでください。 お知らせ ●暗証番号は自由にお決めいただけます。もし忘れた場合は、契約されている各委託放送事業者にお問い合わせください。 ●暗証番号を入力後、下記の設定を行ってください。
	視聴可能年齢	▶ <u>無制限</u> ▶4才～19才（1才刻み）
	一番組限度額	▶ <u>無制限</u> ▶100円 ▶500円 ▶1000円 ▶1500円 ▶2000円 ▶2500円 ▶3000円
	暗証番号変更	●「視聴可能年齢」と「一番組限度額」の設定は残ります。
	暗証番号取消し	●「視聴可能年齢」と「一番組限度額」の設定は「無制限」に戻ります。
	設定した年齢や購入金額を超える番組を選ぶと、暗証番号入力画面が表示されます。 視聴制限があります。 暗証番号を入力してください。 ＿ ＿ ＿ ＿	●暗証番号を入力すると、番組が映ります。 ●「視聴可能年齢」の場合は、一度暗証番号を入力すると、電源を「切」にするまで見ることができます。
	選局対象 デジタル放送で［チャンネル ∧ ∨］を押して順送りできるチャンネルを設定できます。	▶ 設定チャンネル：リモコンの［1］から［12*］と設定した13～36までのチャンネル ▶ テレビ：テレビ放送（映像＋音声）のみ ▶ ラジオ：ラジオ放送（音声）のみ ▶ データ：データ放送のみ ▶ <u>すべて</u>：受信できるすべてのチャンネル
ダウンロード	**ダウンロード予約（➜ 準備編 32）** デジタル放送からの情報を本機に取り込むことにより、本機の制御プログラムを最新のものに書き換えます。	▶ <u>自動</u>：電源「切」時に、自動的にダウンロードします。 ▶ 手動：情報が届いた場合、メールで知らせます。（➜80「放送メール」）
放送設定リセット	**設定項目リセット** 放送設定「受信設定」の「衛星」（➜81）と「電話設定」（➜左ページ）をお買い上げ時の設定に戻します。	▶ はい ▶ <u>いいえ</u>
	個人情報リセット 時刻設定以外の初期設定と放送設定の項目をお買い上げ時の設定に戻します。 また、本機に記録されているお客様の個人情報（メールや購入記録、データ放送のポイントなど）や、予約内容も消去します。 廃棄などで本機を手放される場合以外には、実行しないでください。	→［決定］を3秒以上押して、さらに設定します。 ▶ はい ▶ <u>いいえ</u> お知らせ ●双方向データ放送をご利用の場合、本機からの操作により、放送局に登録された情報はこの操作では消去されません。消去方法はそれぞれのサービスにお問い合わせください。 ●HDDに録画された番組などは、この操作では消去されません。消去するには、**初期設定**「HDDのフォーマット」（➜86）を行ってください。

本機の設定を変える（初期設定）

必要であれば設定を変更してください。設定内容は、電源を切っても保持されます。

初期設定の基本操作

1. 停止中に［操作一覧］を押す
2. [▲] [▼] で「その他の機能へ」を選び、［決定］を押す
3. [▲] [▼] で「初期設定」を選び、［決定］を押す
4. [▲] [▼] でメニューを選び、［決定］を押す
5. [▲] [▼] で設定項目を選び、［決定］を押す
   - ●さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。
6. [▲] [▼] [◀] [▶] で設定内容を選び、［決定］を押す

初期設定
設置
HDD／ディスク
映像
音声
画面設定
テレビ/機器の接続
ネットワーク通信設定
決定
戻る

☞ **前の画面に戻るには**
［戻る］を押す

☞ **画面を消すには**
［戻る］を数回押す

お知らせ
●操作方法が異なる場合があります。画面の指示に従ってください。

メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
設置	**自動電源〔切〕** 操作しないとき、節電のため自動的に電源を切る時間を設定します。	▶ 2 時間　▶ 6 時間（下線）　▶ 切 時間を設定すると、本機の動作（録画やダビングなど）が終了してから 2 時間後または 6 時間後に、電源が切れます。
	リモコンモード（➜ 準備編 31）	▶ リモコン 1（下線）　▶ リモコン 2　▶ リモコン 3
	ワイドモード（➜ 準備編 22） テレビの S 映像入力端子に合わせて出力を設定します。	▶ S1　： ▶ S1/ S2（下線）：「S1」または「S2」のとき ▶ 切　：「S」、またはテレビ側の、ワイドテレビの画面設定の切り換え機能を作動させたくないとき
	時刻合わせ（➜ 準備編 30）	▶（年 / 月 / 日 / 時 / 分）　▶ 自動時刻チャンネル
	音声ガイドの出力 「かんたん設置設定」などの実行時に、音声で操作ガイダンスを行います。	▶ 入（下線）：本書の（音声ガイド対応）マーク部分で働きます。 ▶ 切
	クイックスタート 電源「切」状態からの起動を高速化します。 （映像端子または S 端子接続時） 例：番組表（G ガイド）を約 1 秒で表示します。 ●テレビの種類や接続端子によっては、表示が遅れることがあります。 以下の設定時、「クイックスタート」は自動的に「入」になります。 ●「Wooo リンク録画待機」（➜88）：「入」	▶ 入 ▶ 切（下線） 「入」にすると、内部の制御部が通電状態になるため、「切」のときに比べて以下の内容が異なります。 ●待機時消費電力が増えます。 ●本機の動作を安定させるため、予約録画終了時または、午前 4 時ごろ（1 週間に一度程度）に、本機全体を再起動することがあります。（再起動中は、本体表示窓に “PLEASE WAIT” と表示され、電源以外のボタン操作が数分間できません。また、本機から動作音がしますが、故障ではありません。） ●内部の温度上昇を防ぐため、内部冷却用ファンが回ることがあります。
	初期設定リセット 設定をお買い上げ時の設定に戻します。 ただし、以下の設定は戻りません。 ・時刻　・IP アドレス /DNS 設定 ・DVD-Video の視聴制限　・プロキシサーバ設定 ・BD-Video の視聴可能年齢	▶ する　▶ しない（下線） 本体側の「リモコンモード」もお買い上げ時の設定（リモコン 1）に戻ります。リモコンが働かなくなった場合は（本体表示窓に “U30” と表示）、リモコンモードを変更してください。（➜ 準備編 31、113）

メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）	
HDD／ディスク	**BD-Video/DVD-Video 再生設定**	→［決定］を押して、さらに設定します。	
	DVD-Video の視聴制限 DVD ビデオの視聴制限ができます。	▶ レベル 8 すべて視聴可：すべての DVD ビデオが視聴可。 ▶ **レベル 7 ～ 1**：制限レベルの記録されている DVD ビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可。 ▶ レベル 0 すべて視聴不可：すべての DVD ビデオが視聴不可。	●暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って［1］～［10/0］で暗証番号（4 けた）を入力してください。 **●暗証番号は忘れないでください。** 暗証番号は共通です。
	BD-Video の視聴可能年齢 BD ビデオの視聴可能な下限年齢を設定できます。	▶ **無制限**：すべての BD ビデオが視聴可能。 ▶ **254 歳～ 0 歳**：年齢制限の記録されている BD ビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可。 ▶ **ロック解除** ▶ **暗証番号変更** ▶ **視聴可能年齢変更** ▶ **一時解除**	
	音声言語 BD ビデオや DVD ビデオ再生時の音声を選びます。	▶ **日本語** ▶ **英語** ▶ **オリジナル**（ディスクの最優先言語で再生） ▶ **その他＊＊＊＊**	＊には［1］～［10/0］で言語番号（➜128）を入力
	字幕言語 BD ビデオや DVD ビデオ再生時の字幕言語を選びます。	▶ **オート**：「音声言語」で選んだ言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。 ▶ **日本語** ▶ **英語** ▶ **その他＊＊＊＊**	選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。ディスクに収録されているメニュー画面でのみ切り換えるものもあります。
	メニュー言語 テレビ画面に表示される言語を選びます。	▶ **日本語** ▶ **英語** ▶ **その他＊＊＊＊**	
	ハイビジョンムービー優先モード BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) 通常の動画と他機器でダビングしたハイビジョンムービーの動画が混在したディスクで、再生する動画を設定します。	▶ **入**：ハイビジョンムービーの動画を再生 ▶ **切**：通常の動画を再生	
	記録設定	→［決定］を押して、さらに設定します。	
	EP 時の記録時間 録画モードが EP 時の最大記録時間を選びます。	▶ **6 時間**：4.7 GB ディスクに 6 時間記録 ▶ **8 時間**：4.7 GB ディスクに 8 時間記録	
	高速ダビング用録画 -R(V) -R DL(V) -RW(V) 高速ダビングできるようになります。ただし制限があります。 **（➜ 右記）** 「切」にすると、右記の制限はかかりませんが、上記ディスクへの高速ダビングはできません。 ●以下の場合に有効 ・地上アナログ放送や外部入力、DV 入力から記録 ・ファイナライズ後のディスク（DVD ビデオ）をダビングするとき	▶ **入**：高速ダビング対応にする →［決定］を押して、さらに「はい」を選びます。 ●記録される番組は以下の設定に従い記録されます。 ・画面サイズ：「ビデオ方式の記録アスペクト」（➜ 下記） ・二重放送の音声：「二重放送音声記録」**（➜ 87）** ●放送受信中の音声は切り換えできません。 ・「二重放送音声記録」**（➜87）**で設定した音声が出力されます。 ▶ **切**	
	ビデオ方式の記録アスペクト 記録時のアスペクトの設定をします。 以下の記録時に有効。 ● -R(V) -R DL(V) -RW(V) への記録時 ●「高速ダビング用録画」**（➜ 上記）**が有効なとき	▶ **オート**：番組の記録開始時のアスペクトに従って記録します。 ▶ **4：3** ▶ **16：9** ●録画モード「EP」、「FR（EP モード相当の画質）」での記録時は、設定にかかわらず 4：3 で記録されます。	
	DVD の高速ダビング速度 高速モードでのダビング速度を設定します。 （RAM 5X、-R 8X 以上の高速記録対応ディスクの場合など）	▶ **最高速モード** ▶ **静音モード**：ダビング時の動作音が小さくなります。 ただし、ダビングの所要時間は長くなります。	
	HG ～ HE のディスク記録音声 BD-RE(2.1) BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) ディスクに「HG」「HX」「HE」モードで記録する場合の音声を設定します。ブルーレイディスクや AVCREC 方式の対応機器で再生できない場合、「固定」にして記録してください。再生できるようになる場合があります。	▶ **オート**：ステレオ / サラウンド / 二重放送音声がそのまま記録されます。高速ダビングができます。 （「オート」は当社の拡張方式です。他の機器では再生できない場合があります。） ▶ **固定**：サラウンド放送はステレオ音声で記録されます。 二重放送の音声は、「二重放送音声記録」**（➜87）**に従って、主音声または副音声のどちらか一方のみ記録します。 ダビングは 1 倍速になります。（高速ダビングできません）	

本機の設定を変える（初期設定）（つづき）

メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）	
HDD／ディスク	HDD 設定	→ [決定] を押して、さらに設定します。	
	HDD 管理	→ [決定] を 3 秒以上押して、さらに設定します。	
	全番組消去 番組をすべて消去します。（音声ガイド対応）	▶ はい → [決定] を押して、さらに「実行」を選びます。 ▶ いいえ	
	HDD のフォーマット HDD の初期化を行います。（音声ガイド対応）	▶ はい → [決定] を押して、さらに「実行」を選びます。 ▶ いいえ	
映像	スチルモード HDD またはディスク再生時、一時停止中の画像の表示方法が選べます。	▶ オート ▶ フィールド ：動きのある映像や「オート」時にぶれが生じるとき ▶ フレーム ：「オート」時に細かい絵柄などが見えにくいとき	
	シームレス再生 HDD またはディスクの部分消去した部分などの再生する状態が選べます。（DR モードの番組や AVCHD の動画には、この設定は無効）	▶ 入： なめらかに再生（早送り中やチャプターの音声が異なる場合は働きません。また、位置がずれることがあります） ▶ 切： 精度よく再生（つなぎ目で画像が一瞬止まる場合があります）	
	HD ノイズフィルター HDD またはディスク再生時、ざらつきが少なく柔らかい画像にします。 「D 端子出力解像度」（➜88）が「D3」「D4」のときのみ有効	▶ 入 ▶ 切	
音声	音声のダイナミックレンジ圧縮 BD-V DVD-V 小音量でもセリフを聞き取りやすくします。	▶ 入（ドルビーデジタルの音声にのみ働きます） ▶ 切	
	デジタル出力	→ [決定] を押して、さらに設定します。	
	Dolby Digital※1 ドルビーデジタルの信号を接続した機器側で処理を行う“Bitstream”で出力するか、本機で“PCM”に処理して出力するかを設定します。	▶ Bitstream：ドルビーデジタルのロゴがある機器に接続するとき ▶ PCM：上記のロゴがない機器に接続するとき※2	正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損する恐れがあります。 ドルビーデジタル
	Dolby Digital Plus/TrueHD※1 ドルビーデジタルプラスまたはドルビーTrueHD の信号を接続した機器側で処理を行う“Bitstream”で出力するか、本機で“PCM”に処理して出力するかを設定します。	▶ Bitstream：ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス、ドルビー TrueHD のいずれかのロゴがある機器に接続するとき ▶ PCM：上記のロゴがない機器に接続するとき※2	ドルビーデジタルプラス※3 ドルビーTrueHD※3
	DTS※1 DTS の信号を接続した機器側で処理を行う“Bitstream”で出力するか、本機で“PCM”に処理して出力するかを設定します。	▶ Bitstream：DTS デジタルサラウンドのロゴがある機器に接続するとき ▶ PCM：上記のロゴがない機器に接続するとき※2	DTS デジタルサラウンド
	DTS-HD※1 DTS-HD の信号を接続した機器側で処理を行う“Bitstream”で出力するか、本機で“PCM”に処理して出力するかを設定します。	▶ Bitstream：DTS デジタルサラウンド、DTS-HD ハイレゾリューションオーディオ、DTS-HD マスターオーディオのいずれかのロゴがある機器と接続するとき ▶ PCM：上記のロゴがない機器に接続するとき※2	DTS-HD ハイレゾリューションオーディオ※3
	AAC※1 放送や音楽の AAC の信号を接続した機器側で処理を行う“Bitstream”で出力するか、本機で“PCM”に処理して出力するかを設定します。	▶ Bitstream：AAC をデコードできる機器に接続するとき ▶ PCM：AAC をデコードできない機器に接続するとき※2	DTS-HD マスターオーディオ※3
	BD ビデオ副音声・操作音（副音声を含む BD-V） BD ビデオのメニュー画面などで使われる操作音の入 / 切を設定します。	▶ 入： サンプリング周波数は 48kHz に変換されます。上記で「Bitstream」を選ぶと、副音声を含む BD ビデオ再生時はドルビーデジタルの音声に変換されます。 ▶ 切： オリジナルの音声方式を出力する場合に設定してください。	

※ 1 HDMI 端子の音声出力時に接続機器が対応していない項目が選ばれると、接続機器の仕様により設定通り出力されない場合があります。（例：テレビと HDMI で接続した場合、本機の HDMI 音声出力はダウンミックス 2ch に制限されます）

※ 2 デジタル音声出力端子はダウンミックス 2ch の PCM 音声になります。HDMI 出力端子は LPCM で収録された音声のとき最大 7.1ch、それ以外は、最大 5.1ch の PCM 音声になります。ドルビーデジタルプラスやドルビー TrueHD はドルビーデジタルとしてデコードした PCM 音声、DTS-HD は DTS としてデコードした PCM 音声になります。

※ 3 これらの音声は、これらの音声のデコードに対応した機器と HDMI 接続し、「Bitstream」に設定した場合に出力されます。ただし、「BD ビデオ副音声・操作音」を「入」、「Dolby Digital」を「Bitstream」に設定すると、副音声を含む BD ビデオ再生時、これらの音声はドルビーデジタルの Bitstream に変換されて出力されます。
なお、以下の場合、ドルビーデジタルプラスやドルビー TrueHD はドルビーデジタルの、DTS-HD は DTS の Bitstream としてそれぞれ出力されます。
・非対応機器と接続　・デジタル音声出力端子で接続　・複数の機器に HDMI 接続し、機器側に制約がある

メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
音声（つづき）	**PCM ダウンサンプリング変換** サンプリング周波数 96 kHz または 88.2 kHz で収録された音声を 48 kHz または 44.1 kHz に変換する（「入」）かしない（「切」）かを選びます。	▶ 入：96 kHz または 88.2 kHz に非対応の機器との接続 ▶ 切：96 kHz または 88.2 kHz に対応した機器との接続 以下の場合は、設定にかかわらず 48 kHz または 44.1 kHz に変換されます。 ・「BD ビデオ副音声」（➜ 左ページ）を「入」選択時（BD-V） ・176.4 kHz 以上の信号（BD-V） ・著作権保護処理がされているディスク（BD-RE BD-R BD-V RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC)）
	二重放送音声記録 以下の記録時、両音声を記録できません。記録する音声を選びます。 ●-R(V) -R DL(V) -RW(V) への記録 ●「高速ダビング用録画」（➜85）が有効なとき ●「XP 時の記録音声モード」（➜ 下記）を「LPCM」にして、録画モード「XP」での記録 ●BD-RE(2.1) BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC)「HG ～ HE のディスク記録音声」（➜85）を「固定」にして、「HG」「HX」「HE」モードの番組をダビング、または「HG」「HX」「HE」モードで記録	▶ 主音声 ▶ 副音声
	XP 時の記録音声モード 録画モードが「XP」での記録時、音声を選びます。	▶ Dolby Digital ▶ LPCM ・画質は少し下がります。 ・XP 以外の録画モードでは、「Dolby Digital」になります。 ・二重放送の音声は「二重放送音声記録」（➜ 上記）であらかじめ選んでください。
	外部入力の音声 外部入力からの録画時、音声の種別を選びます。	▶ ステレオ ▶ 二重音声：二重放送の音声を記録する場合は、「二重放送音声記録」（➜ 上記）で音声をあらかじめ選んでください。（「高速ダビング用録画」（➜85）が「入」のときは、選んだ音声のみ記録）
	DV 入力時の音声設定 i.LINK（DV 入力 /TS）端子（➜54）からの録画時、音声の種類を選びます。	▶ ステレオ 1：録画時の音声（L1、R1）を録音 ▶ ステレオ 2：編集などであとから追加した音声（L2、R2：ナレーションなど）を録音 ▶ MIX：ステレオ 1 とステレオ 2 の音声を録音 二重放送の音声を記録する場合は、「二重放送音声記録」（➜ 上記）で音声をあらかじめ選んでください。
画面設定	**画面表示動作〔オート〕** 操作の表示をテレビ画面に自動で表示します。	▶ 入 ▶ 切
	地上アナログ時のブルーバック 地上アナログ放送の受信信号が弱いとき、画面背景を表示しないようにします。	▶ 入 ▶ 切
	テレビ画面の焼き付き低減機能 テレビ画面の焼き付きを低減するための設定です。通常は「入」に設定しておくことをお勧めします。「入」に設定すると、以下のような動作を行います。 ●以下の状態のときに 10 分以上操作を行わないと、自動的に画面を切り換えます。 ・再生ナビ、番組表、操作一覧、予約確認、おまかせダビング、消去ナビ：画面を消します。 ・写真再生中（スライドショーは除く）：再生ナビ画面に戻ります。 ・音楽再生中：写真のスライドショー画面を表示します。 ●黒帯部分を明るくします。 ［D 端子または HDMI 端子と接続して、「D 端子出力解像度」（➜88）が「D3」「D4」のときや「HDMI 出力解像度」（➜88）が「480p(525p)」以外のとき］	▶ 入 ▶ 切
	本体表示窓の明るさ 本体表示窓の明るさを調節します。	▶ 常時 明　▶ 常時 暗 ▶ オート：再生中は暗くなり、電源「切」時はすべて消灯します。 ・電源「切」時の消費電力の節電になります。 （電源「切」時の消費電力 ➜129）
	SD カード LED 制御 SD カードスロットの上にあるランプの点灯方法を設定します。	▶ 常時点灯　▶ 常時消灯 ▶ カード入点灯：電源「入」時に、SD カードを入れると点灯します。

本機の設定を変える（初期設定）（つづき）

メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
テレビ／機器の接続	TV アスペクト 接続したテレビに合わせて設定します。	▶4：3　：4：3 標準テレビに接続時 ▶16：9　：ワイドテレビに接続時 ▶16：9 フル：ワイドテレビに接続時、左右の黒帯をなくして表示したいとき
	HDMI 接続	→ [決定] を押して、さらに設定します。
	HDMI 映像優先モード	▶入　▶切：アンプなどの機器とHDMIケーブルで接続し、テレビとD端子ケーブルで接続するとき（アンプと接続する前に設定してください）
	HDMI 出力解像度 接続した機器が対応している項目には、画面上に「＊」が表示されます。「＊」の付いていない項目を選ぶと、映像が乱れることがあります。映像が乱れた場合は、本体の [■停止] と [▶再生 /1.3 倍速] を5秒以上押したままにしてください。 「480p(525p)」に設定されます。再度正しく設定してください。	▶オート：1080i(1125i)、480p(525p) の順で接続した機器に適した解像度を自動で選択します。 ▶480p(525p)　▶1080i(1125i) ▶720p(750p)：720p(750p) の映像以外は、1080i(1125i) で出力されます。
	HDMI RGB 出力レンジ RGB 入力のみに対応した機器（DVI 機器など）に接続したとき有効。	▶スタンダード ▶エンハンス：映像の黒白が鮮明でないとき
	HDMI 音声出力	▶入　▶切：テレビと HDMI 端子で接続し、HDMI 非対応のアンプなどとデジタル音声出力端子で接続するとき
	Wooo リンク制御 Wooo リンクに対応した機器と HDMI ケーブルで接続したときに、連動操作の設定をします。	▶入　▶切：Wooo リンクを使わないとき
	Wooo リンク録画待機 Wooo の電源が「入」のときに、本機がすぐに録画できる状態に設定します。 ●「Wooo リンク制御」（➜上記）が「入」のときのみ有効。	▶入　▶切 「入」に設定すると、「クイックスタート」（➜84）は自動的に「入」になります。
	D 端子出力解像度（➜準備編 22）	▶D1　▶D2　▶D3　▶D4 ●「D4」に設定すると、720p(750p) の映像以外は、1080i(1125i) で出力されます。 ●設定を変更して映像が乱れた場合は、本体の [■停止] と [▶再生 /1.3 倍速] を5秒以上押したままにしてください。「D1」に設定されます。
	TV アスペクト（4:3）の設定 4：3 テレビに接続時、16：9 映像の映しかたを選びます。 DVD-Video の 16：9 映像	▶パン&スキャン：左右の切れた映像で再生（パン&スキャン再生ができないソフトは、レターボックスで再生） ▶レターボックス：上下に帯のある映像で再生
	録画ディスクの 16：9 映像	▶スルー：録画された映像のままで再生 ▶パン&スキャン：左右の切れた映像で再生 ▶レターボックス：上下に帯のある映像で再生 HDD DR モードの番組は、レターボックスで再生します。
	スピーカー設定 スピーカーの出力設定により、理想的な音空間を作ります。	▶マルチチャンネル：スピーカーを3本以上接続するとき（➜準備編 25） ▶2 チャンネル：スピーカーを2本接続するときやドルビープロロジックデコーダーに接続するとき
	i.LINK 機器モード設定 i.LINK（DV 入力 /TS）端子に接続した機器に合わせて設定します。	▶DV モード：DV 機器 ▶TS モード 1：i.LINK（TS）に対応する当社製ブルーレイディスクレコーダー ▶TS モード 2：i.LINK（TS）に対応する CATV デジタルセットボックス ●「クイックスタート」（➜84）を「入」にしてください。

メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
ネットワーク通信設定	IP アドレス /DNS 設定（➜ 準備編 34）	→ [決定] を押して、さらに設定します。
	接続テスト	ーー
	IP アドレス自動取得	▶ する　▶ しない
	IP アドレス	ーーー . ーーー . ーーー . ーーー
	サブネットマスク	ーーー . ーーー . ーーー . ーーー
	ゲートウェイアドレス	ーーー . ーーー . ーーー . ーーー
	DNS-IP 自動取得	▶ する　▶ しない
	プライマリ DNS	ーーー . ーーー . ーーー . ーーー
	セカンダリ DNS	ーーー . ーーー . ーーー . ーーー
	接続速度自動設定	▶ オフ　▶ オン
	接続速度設定 「接続速度自動設定」（➜ 上記）が「オフ」時のみ有効	▶ 10BASE 半二重　▶ 10BASE 全二重 ▶ 100BASE 半二重　▶ 100BASE 全二重
	プロキシサーバ設定（➜ 準備編 35）	→ [決定] を押して、さらに設定します。
	標準に戻す	▶ はい　▶ いいえ
	プロキシアドレス	（初期値は空欄）
	プロキシポート番号	（初期値は 0）